

高津区



■人口 230,893 人

■世帯数 110,489 世帯

■面積 17.10 km²

(平成 30 (2018) 年 1 月 1 日現在)

高津区の木



高津区の花



高津区の概要

- 高津区は、多摩川や二ヶ領用水の流れる平坦地と、多摩丘陵の一角を形成する丘陵地で形づくられ、豊かな水辺空間と起伏ある地形が特徴となっています。
- 昭和 47 (1972) 年に川崎市が政令指定都市に移行した際、5 つの行政区のひとつとして誕生し、昭和 57 (1982) 年の行政区の再編により宮前区が分区して現在の高津区となっています。
- 江戸時代に大山街道沿いの宿場町として賑わった二子地区や溝口地区では、多くの人が交流し商業が栄えるとともに、歌人・岡本かの子、陶芸家・濱田庄司、画家／彫刻家・岡本太郎や詩人／童謡作家・小黑恵子など多くの芸術家を輩出しています。また、橘地区には、本市初の国史跡である橘樹官衙遺跡群をはじめ、市内で唯一現存する前方後円墳を有する蟹ヶ谷古墳群など、古代かわさきの記憶を今に残す豊富な歴史的・文化的資源が存在しています。
- 市街地の発展は、昭和初期に玉川電気鉄道溝ノ口線（現・東急田園都市線）と南武鉄道（現・JR 南武線）の開通を契機として始まり、戦後は、東京への通勤圏として住宅需要が増大したことに伴い、宅地・マンションの開発や溝口駅北口再開発等の都市基盤の整備が進められてきました。分区当時、146,793 人（昭和 57 (1982) 年 7 月 1 日現在）だった人口は、230,549 人（平成 29 (2017) 年 9 月 1 日現在）となり、市内で 2 番目に多くなっています。将来人口推計では、平成 47 (2035) 年に人口のピーク（242,900 人）を迎えることが予測されており、今後も人口増加が続く見込みとなっています。
- 自然や歴史・文化的特性に加え、高津区は市内でも製造業の事業所数が多く、川崎のものづくりを支える中小の加工組立企業をはじめ、研究開発型企业やベンチャー企業が数多く立地しています。

高津区的主要地域資源・魅力など



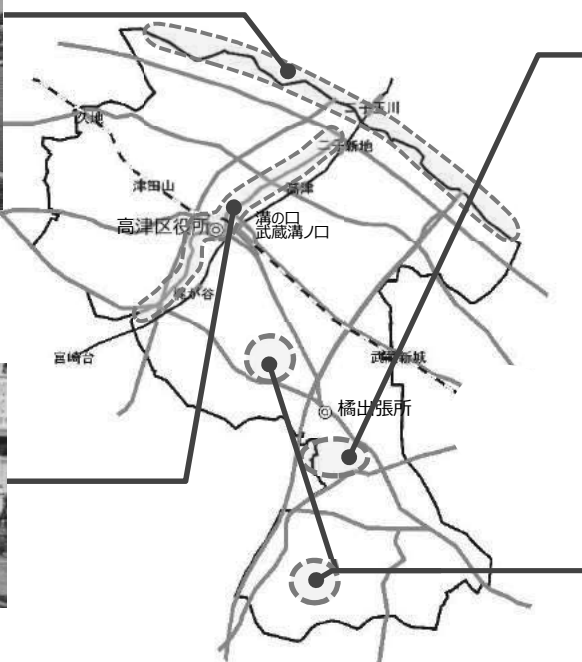
区民の憩いの場・多摩川



市内初の国史跡 橘樹官衙遺跡群
（「橘樹郡衙跡」発掘風景）



大山街道の歴史を再現した納太刀



橘地区に広がる「農のある風景」



まちづくりの方向性

「歴史と進歩が調和した、心豊かに安心して暮らせるまち」

- 高津区には、大山街道や橋樹官衙遺跡群に代表されるように、古くから受け継がれてきた歴史と培われてきた文化が蓄積され、また今も、都市の発展を背景に多くの新しい区民を迎え、新たな都市文化が芽生えています。こうした歴史文化と新たに生まれた都市文化の調和を図りながら、まちの魅力を高め、区民が高津のまちに愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。
- また、多様な文化を持つ区民、幅広い世代の区民がともに集い、交わりを結び、支え合うことによって、豊かな心と生きがいを育み、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざします。



第1期の主な取組状況

●地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進

区民が愛着と誇りをもてるまちづくりを推進するため、二ヶ領用水久地円筒分水や橋地区の農資源など多様な地域資源の魅力向上や情報発信を区民協働で実施するとともに、大山街道や「二子の渡し」など多摩川でつながる世田谷区をはじめとした他地域との連携・交流を進め、賑わいのあるまちづくりに取り組んでいます。



「二子の渡し」体験イベント

●多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

地域コミュニティの活性化を図るため、町内会・自治会の加入促進などの取組を進めています。また、中小製造業と地域住民の交流を促す「住工共生のまちづくり」や多文化交流事業等を通じ、住民の相互理解を促進することにより、共に暮らし、支え合う地域づくりに取り組んでいます。

●総合的な子ども・子育て支援の推進

地域で孤立することなく、安心して子育てができるよう、子育て支援事業や転入者子育て交流会を開催しています。また、地域の子育て関係機関が連携し、子育てしやすいまちづくりを推進するとともに、子育て支援者の人材育成を推進することにより、地域の子育て力の向上を図っています。

●すこやか・支え合いのまちづくりの推進

在宅医療の普及啓発や地域における見守り体制の構築に取り組むとともに、「高津公園体操」などの活動を支援し、健康づくり・生きがいづくりに取り組んでいます。また、障害者福祉施設、特別支援学校の活動紹介や地域イベントにおける障害者と地域との交流などを通じ、障害に関する理解と関心を深める「こころのバリアフリー」に取り組んでいます。

●安全・安心なまちづくりの推進

区民の防災意識を高める取組を進めるほか、自主防災組織や避難所運営会議の運営支援を継続し、震災や風水害等に対する地域防災力向上に取り組んでいます。また、帰宅困難者対策の強化を図るため、「溝口駅周辺地域エリア防災計画」を策定し、滞留者等の安全確保・混乱抑制・都市機能の継続に向け取り組んでいます。

●区民との協働で進める環境まちづくりの推進

「エコシティたかつ」推進方針に基づき、学校ビオトープを活用した環境学習や、水・緑・生き物の調査や間伐体験等を通し身近な森の再生過程を学習するプロジェクトに取り組んでいます。区民・学校・企業など多様な主体との協働により、地球温暖化適応策や生物多様性保全に取り組むほか、区民への普及啓発を行っています。



学校ビオトープを活用した環境学習



現状と課題

●歴史・文化、自然など魅力あふれる豊富な地域資源があります。

- 区内には、大山街道や二ヶ領用水久地円筒分水、市内初の国史跡である橘樹官衙遺跡群などの歴史的・文化的名所や建造物をはじめ、橘地区を中心とした農のある風景や多摩川の水辺、緑などの豊かな自然、川崎のものづくり技術を支えてきた企業の集積など、魅力的な地域資源が豊富です。
- 区民が愛着と誇りを持てるまちづくりを推進するため、地域住民などと連携しながら資源を活かし、区の更なる魅力向上と区内外への情報発信が求められています。



多くの区民が集う「円筒分水スプリングフェスタ」

●日々の暮らしの中で、人と人とのつながりが大切になっています。

- 平成 28（2016）年の高津区の転入者数は 15,966 人と、新しい区民が増え続けており、「かわさき市民アンケート」でも区内定住意向は増加傾向で、多くの区民が今後も区内に住み続けたいと希望しています。
- 一方、平成 28（2016）年度区民生活に関わるニーズ調査（以下「ニーズ調査」という。）によると、「近隣の住民同士の関係が薄れている」ことをまちの課題・問題点に挙げる区民が 22.5%となっており、人と人とのつながりや、お互いが支え合いながら暮らしていくコミュニティづくりが求められています。
- また、区内では町内会・自治会や多くの市民活動団体が、暮らしやすい地域づくりに向けて活動していますが、担い手の不足や高齢化なども課題となっており、地域の活性化に向けた取組が求められています。

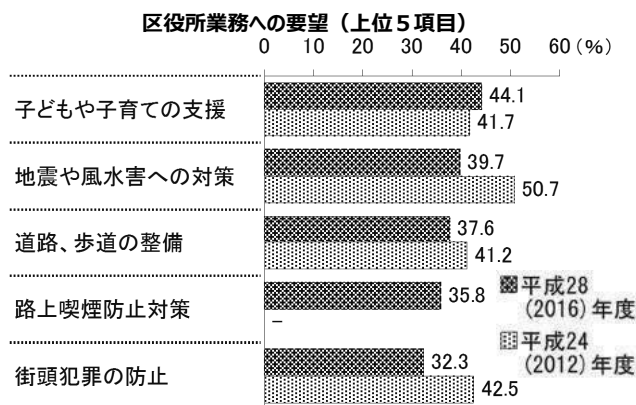


町内会・自治会活動紹介冊子

「高津区を支える人たち。高津区町内会・自治会ずかん」

●出生数が市内で 2 番目に多く、転入者に占める子育て世代の割合も高くなっています。

- 平成 28（2016）年の年間出生数は 2,451 人と市内で 2 番目に多く、また、転入者に占める子育て世代の割合も 73.7%と全市平均より高く、子育てに対する不安感や慣れない土地での孤立感を抱く区民が多いことが懸念されます。
- ニーズ調査でも、区役所への要望として 44.1%の区民が「子ども・子育て支援」を挙げており、こうした区民のニーズに応えるため、保護者の子育て力の向上や地域で子育てを支える環境づくり、待機児童対策などを総合的に推進する必要があります。



資料：平成 28（2016）年度 区民生活に関わるニーズ調査

●今後、より一層の高齢化が見込まれています。

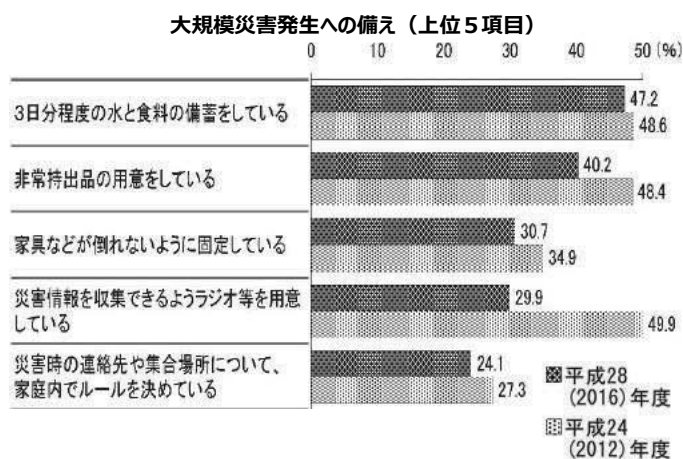
- 区内の高齢化率は 18.0%（平成 29（2017）年 9 月末現在）と全市平均より低い状況ですが、今後高齢化が一層進み、介護や医療サービスを必要とする高齢者の増加が見込まれています。
- 一方、ニーズ調査によると、健康づくりを推進していくための望ましい手法として、「市民が自主的に行う健康づくりの活動を支援する」と回答した割合は年代を追うごとに高まり、高年齢者ほど健康づくりへの何らかの支援を求めていることがわかります。
- 住み慣れた地域で安心した暮らしができるよう、医療や介護の連携の促進、見守り・支え合い体制の構築とともに、健康づくり活動への支援や参加促進の取組が求められています。



健康づくり、多世代交流の場として親しまれる「高津公園体操」

●安全・安心な生活環境を求める区民の意識が高くなっています。

- 平坦地と丘陵地で構成される高津区は、その地形により、近年増加傾向にある豪雨等に伴う風水害等の災害リスクが地域で異なることから、区民一人ひとりが「我が家のリスク」や「地域のリスク」を認識することが必要になっています。
- ニーズ調査によると、大規模地震の発生に不安を挙げる区民が 83.1%に達する一方で、家庭での備えや地域の防災訓練への参加状況は低く、意識と行動との間にギャップが見られます。そのため、各家庭や地域における自主防災組織等を中心とした自助・共助（互助）の行動につなげていくことが必要です。
- さらに、大規模地震の発生時には、溝口駅周辺において大きな混乱が予想されることから、帰宅困難者対策の強化が求められています。



資料：平成 28（2016）年度 区民生活に関わるニーズ調査

●環境意識の高い区民によるさまざまな活動が進んでいます。

- 宅地化の進展等による動植物の生息・生育空間の減少や、土地の保水力の低下などが懸念される中、環境に関わる区民主体の活動が展開されています。
- 地球温暖化の進行を自らも当事者としてとらえながら暮らししていくためには、温暖化の「緩和策」や影響に適切に対処する「適応策」について、一人ひとりの意識の醸成を図り、実践に結び付けていくことが求められています。



健全な森づくりに取り組む「たかつの自然の賑わいづくり事業」



計画推進の主な視点

- 『自分の生命は自分で守る』という防災意識の向上を図るため、防災訓練やイベントなどを通じたきめ細やかな啓発等に取り組むほか、関係機関の連携・協力などによる共助（互助）・公助の取組を推進し、地域防災力をさらに向上させる必要があります。
- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、お互いを気にかけて、助け合うことのできるまちづくりを推進するとともに、区民ニーズを踏まえた健康づくり活動や生きがいづくりなどへの支援に取り組む必要があります。



計画期間の主な取組

地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

主な取組の方向性

区民が愛着と誇りを持てるまちづくりを進めるため、歴史的・文化的名所、農資源をはじめとした多様な地域資源の魅力向上の取組や情報発信を区民協働で実施するとともに、多摩川でつながる世田谷区をはじめ他地域との連携・交流を進めます。

事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
大山街道周辺整備活性化事業 <small>大山街道やその周辺に残された歴史的・文化的資源を保全・活用し、魅力的な空間の創造と地域の活性化を図ります。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的・文化的資源を活用したまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○区民との協働によるイベント実施や情報発信 ・大山街道アクションフォーラムの開催(年3回) ○大山街道ふるさと館等関係団体と連携した取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「大山街道フェスタ」等地域活性化の取組の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効果的な展開に向けた検討・実施 			事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●世田谷区など大山街道沿線の地域と連携した取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「二子の渡し」実施 ・「大山街道ウォーキング」の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・他地域との新たな連携に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を踏まえたイベントの実施 		
「たちばな農のあるまちづくり」推進事業 <small>橘地区の農資源を活用した取組を区民主体で行うことにより、地域の活性化やふるさと意識の醸成を図ります。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●農業者と区民の協働による食と農の地域資源を発見する活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○農産物直売所等を紹介する「おさんぼマップ」を活用した地域の魅力発信 ・「おさんぼマップ」作成 ●地産地消と子どもの食育を結び農のある風景と暮らしを次世代に伝える活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○小学生や未就学児の親子等を対象とした農体験イベントの実施 ●市民パワーによる地域資源の活性化・ネットワーク化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地場農産物の販売を通じた農業者と区民との交流を図る「高津さんの市」の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 年1回更新・発行 			事業推進
			<ul style="list-style-type: none"> 実施回数: 4回 実施回数: 2回 実施回数: 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数: 2回 実施回数: 2回 		
			<ul style="list-style-type: none"> H29開催回数: 11回 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な開催方法等の検討・実施 		
高津区地域資源ネットワーク事業 <small>区内の歴史・文化・自然などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進します。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●「高津のさんぼみち」を活用した回遊性のある魅力的なまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ルートマップ作成・道しるべの設置による回遊性の向上 ○地域資源をめぐるウォーキングイベントの実施 ●回遊性向上のための公共サインの維持管理・更新 <ul style="list-style-type: none"> ○公共サインの表示内容の充実 ○広告掲載事業の本格実施に向けた検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・ルートマップ作成(大山街道ルート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合ガイドマップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートマップの活用 	事業推進
			<ul style="list-style-type: none"> ・ルートマップ作成(江川～蟹ヶ谷ルート) 			
			<ul style="list-style-type: none"> H29実施回数: 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングコースの選定・イベントの実施 		
			<ul style="list-style-type: none"> ・H29サイン内容更新: 1か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共サインの更新 		
			<ul style="list-style-type: none"> ・広告掲載事業社会実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験内容検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格実施 	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価



事業名	現状	事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
高津区ふるさとアーカイブ事業 地域資料を収集・保存・整理・活用し、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資料の収集・保存・維持管理・公開 ○古写真、オーラルヒストリー（まちのこぼれ話）の収集 古写真等約3,300点（H28） オーラルヒストリー65件（H28） ○デジタルアーカイブの適切な運用、ホームページによるアーカイブの公開 ・ホームページを活用した古写真等の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集 ・オーラルヒストリー収集 （久地・宇奈根・北見方・下野毛地区） 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーラルヒストリー収集 内容の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を踏まえた実施 		事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資料を活用したふるさと意識や地域アイデンティティの醸成 ○収集した資料を活用した写真展やイベント等の実施 H29実施回数：写真展1回、ワークショップ1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真展・ワークショップの効果的手法の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真展・ワークショップの効果的な展開 		<ul style="list-style-type: none"> ・区制50周年を見据えた取組の検討 	

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

主な取組の方向性

町内会・自治会未加入世帯の加入促進の取組や地域で活動するスポーツ関係団体が連携し開催するイベントなどを通じ、地域課題の解決と魅力あるまちづくりを進めるための基盤となる地域コミュニティの活性化を図るとともに、住工共生や多文化共生のまちづくりを推進し、住民の相互理解を促進することにより、共に暮らし、支え合う地域づくりに取り組めます。

事業名	現状	事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
高津区地域連携スポーツ事業 地域で活躍するスポーツ関係団体の連携によるイベントを通じて、地域コミュニティの活性化や世代間交流の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツを通じた地域コミュニティの活性化及びスポーツ参加機会の拡充 ○参加者・親子同士の交流を図る親子そり体験の実施 H29実施回数：3回 ○障害の有無に関わらず誰でも気軽にスポーツを体験できるファミリースポーツ緑日の実施 H29実施回数：1回 ●障害者スポーツの普及促進 ○障害者スポーツ体験イベントの実施 ・実施内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数:3回 実施回数:1回 ・車いすバスケットボール等の体験イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数:3回 実施回数:1回 ・体験イベントの検証・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数:3回 実施回数:1回 ・東京2020オリンピック・パラリンピックにあわせた体験イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数:3回 実施回数:1回 	事業推進
地域コミュニティ施策推進事業 町内会・自治会未加入世帯に向けた加入促進の取組などにより地域コミュニティ活性化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会・自治会の加入促進に向けた取組の推進 ○町内会・自治会の活動を紹介する冊子配布及び活用 ・冊子作成・配布 ○転入者向け町内会・自治会相談コーナーの継続開設 ・相談コーナーの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子の活用 継続実施 				事業推進

事業名	事業内容・目標					
	平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
高津区まちづくり推進事業 まちづくり活動に関する団体に対し、活動に必要な知識や活動場所、情報を提供することにより、市民活動・まちづくり活動の一層の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動の場・情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○区民が主体となった市民活動支援ルーム（4か所）の運営、維持管理 ・運営、維持管理 継続実施 → 事業推進 ○広報誌やホームページ等による市民活動情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌発行：4回 発行回数：4回 発行回数：4回 発行回数：4回 発行回数：4回 → ●まちづくりに係る人材の発掘・育成と活動体験機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり講座「タツガク」の開催 H29開催回数：7回 開催回数：7回 開催回数：7回 開催回数：7回 開催回数：7回 → ●活動団体の交流・連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動見本市の開催 H29開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → 					
高津区多文化共生推進事業 外国人市民と多様な体験活動を共有することで相互理解を図り、支え合いながら共に暮らす地域づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●多文化共生の視点に立った防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○外国人市民とともに学ぶ多文化防災訓練の実施 H29実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 → 事業推進 ●多文化共生の理解を深める取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○日本料理を含む各国料理や文化に関する講習の実施 H29実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 → (予定) ○多文化共生の理解につながる講演会等の開催 H29開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → (予定) ●外国人市民の子どもと保護者が定期的に情報交換や交流を図る場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場の開催 継続実施 → 					
ものづくりのまち推進事業 工場と住民の交流を促し、住工共生のまちづくりを推進するとともに、ものづくりの魅力発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●町工場を見学・体験するオープンファクトリー等のイベントを活用した工場と住民の交流促進 <ul style="list-style-type: none"> H29実施回数：2回 実施回数：2回 実施回数：2回 実施回数：2回 実施回数：2回 → 事業推進 ●ものづくりの魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ○小学校等へのものづくり企業マップ配布及び活用 ・ものづくり企業マップ作成 ・マップを活用したものづくりの魅力発信 → ○イベントを活用した取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりイベントへのブース出展 継続実施 → 					

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

総合的な子ども・子育て支援の推進

主な取組の方向性

子育て情報の発信や子育てグループ等を支援することにより、地域で孤立することなく、安心して子育てできるまちづくりに取り組むとともに、地域の子育て力の向上を図ります。また、子どもたちが自分の未来を考え、夢と希望をもって成長できるよう、地域資源等を活用して子どもの育ちを支援します。

事業名	事業内容・目標					
	平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
子育て支援事業 各種子育て講座を通じて、子育て中の区民の育児力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てに対する不安感・孤立感の軽減を図る取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○初めて赤ちゃんを育てる母親を対象とした連続講座の開催 H29開催回数：3回 開催回数：4回 開催回数：4回 開催回数：4回 開催回数：4回 → 事業推進 (予定) ●男性の育児参加・地域参加の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○男性の育児参加・地域参加をテーマとした連続講座の開催 H29開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → ●子どもの年齢に応じた育児力向上の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地域連携出張保育「あつまれキッズ」の実施 H29実施回数：39回 実施回数：39回 実施回数：39回 実施回数：39回 実施回数：39回 → (予定) 					



事業名	現状	事業内容・目標					
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
子育て情報発信事業 子育て中の親の立場に立った、より身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て中の区民のニーズに応じた地域の子育て情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の発行、ホームページ掲載情報の充実 H29発行数：8,000部 ・年1回更新・発行部 ●地域子育て支援センター（区内8か所）の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ○地域子育て支援センターリーフレット（高津区版）の発行 H29発行数：7,000部 ・年1回更新・発行部 ●各保育園の地域支援や健康情報等の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報冊子「ひろばノート」の発行 H29発行数：1,300部 ・年1回更新・発行部 					事業推進	
子育てネットワーク推進事業 地域の関係機関がネットワークを構築し連携することにより、子育てしやすいまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・子育てネットワーク会議を通じた情報共有・意見交換の実施 <ul style="list-style-type: none"> H29開催回数：4回（予定） ●転入者の孤立感、不安感の軽減を図る交流の場・子育て情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○転入者子育て交流会の開催 H29開催回数：6回 ●幼稚園・保育園・小学校の連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○発達連続性を踏まえた子どもの育ちを支援する交流事業等の実施 H29開催回数：連絡会4回（予定） ●公営保育園を活用した遊び体験、育児講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○地域の親子等を対象とした園庭開放「あそびの広場」の実施 H29実施回数：58回（予定） 	開催回数：4回	開催回数：4回	開催回数：4回	開催回数：4回	開催回数：4回	事業推進
子育てグループ等活動推進事業 地域で子育てを支えている子育てグループ等の活動支援を行い、地域の子育て力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てグループ等の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ○区民主体の交流会、見学会、研修会等の開催 H29開催回数：計6回 ○大型遊具等の貸出 ○大型遊具等の貸出を通じた子育てグループ活動の運営支援 	交流会：年1回開催	交流会：年1回開催	交流会：年1回開催	交流会：年1回開催	交流会：年1回開催	事業推進
こども未来事業 地域資源を活用し、子どもたちが夢と希望を持って成長できるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源を活用した成長支援 <ul style="list-style-type: none"> ○小学生を対象としたものづくりや町工場の現状・課題の学習、町工場見学の実施 H29実施回数：各年1校実施 ●子どもを中心とした多世代交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○いごの家等を活用した多世代交流の取組の推進 H29実施回数：23回（予定） ●子どもが木に親しみを持つための木育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○木のぬくもりや心地よさを体験できる遊びの場「もくもくパーク」の実施 H29実施回数：4回 	1校実施	事業の検証・実施				事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価



転入者子育て交流会 ～ホッと子育て in たかつ～



地域資源を活用した成長支援「こども未来事業」

すこやか・支え合いのまちづくりの推進

主な取組の方向性

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域における見守り活動の立上げ支援や、健康づくり活動に取り組むグループの交流を促進し、地域の支え合いを推進します。また、障害者と地域との交流を通じ、障害に関する理解と関心を深めるこころのバリアフリーを推進します。

事業名	事業内容・目標						
	現状 平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
高津区地域包括支援ネットワーク推進事業 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、在宅医療の普及啓発の促進や地域における見守り体制づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療の普及啓発の促進 ○在宅医療に関するシンポジウム等の開催 H29参加者数：86名 開催回数：1回 		開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	→ 事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●「互助」の意識醸成に向けた取組 ○高津区高齢者見守りネットワーク協力団体・事業所の交流会・講演会の開催 H29開催回数：1回 開催回数：1回 		開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	→
	<ul style="list-style-type: none"> ○事例集を活用した小地域の見守り活動の体制構築支援 ・見守り活動事例集作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例集を活用した見守り活動の体制構築支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な支援の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた取組の実施 			→
	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションにおけるつながりづくりの支援 ○マンション居住者間及び居住者と地域とのつながりづくり支援 ・アンケート・ヒアリング調査を通じて実態把握（H29） ・マンション交流会の開催：1回（H29） 	<ul style="list-style-type: none"> ・好事例の活用等によるつながりづくり支援及びモデル実施に向けた検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた取組の実施 			→
健やか地域推進事業 「高津公園体操」の普及啓発や健康づくり活動団体の交流を図り、「健康寿命の延伸」や「多世代交流」、「見守り活動」など共に支え合う地域づくりにつなげます。	<ul style="list-style-type: none"> ●公園体操の普及促進 ○公園体操体験会、継続参加者フォローアップ研修の実施 H29実施回数：1回 実施回数：1回 		実施回数：1回	実施回数：1回	実施回数：1回	実施回数：1回	→ 事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●公園体操及び健康づくり活動の活性化支援 ○公園体操新規立上げ支援・活動継続支援、リーダー向け交流会の開催 ・支援の実施 ・リーダー向け交流会開催回数：1回（H29予定） 	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 	開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	→
	<ul style="list-style-type: none"> ○公園体操・健康づくり活動紹介リーフレット作成・配布 ・公園体操リーフレット作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園体操・健康づくり活動紹介リーフレット作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの活用 				→
	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりグループ交流会をはじめとする交流活動の自主運営に向けた支援 H29交流会参加団体数：44団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運営に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の継続 			→
高津区こころのバリアフリー推進事業 障害者と地域が交流する機会を設け、こころのバリアフリーを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●施設利用者との交流を行う「ふくシティたかつ」の開催 ○障害者施設や特別支援学校の活動紹介、作品展示等の実施 H28参加施設数：59施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な手法の検討・実施 					→ 事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●障害理解に関する講演会・シンポジウムの開催 ○障害に関する正しい理解と啓発活動を目的とした講演会等の開催 H28参加者数：40名 	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 					→
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域催事へのボランティア参加による地域交流 ○障害者が役割を持って高津区民祭などの地域の行事に参加する機会の創出 H28参加者数：14名 	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 					→

総論
10年戦略
基本政策1
基本政策2
基本政策3
基本政策4
基本政策5
区計画
進行管理・評価



安全・安心なまちづくりの推進

主な取組の方向性
 区民の防災意識の向上と、自主防災組織や避難所運営会議の活性化を図り、震災や風水害等に対する地域防災力向上に取り組みます。また、年齢等に合わせたきめ細やかな啓発活動を通じ、幅広い世代の交通安全意識の向上を図るとともに、安全・安心で住みやすい環境整備を推進するため、自転車の適正な駐輪に関する広報・啓発活動を実施します。

事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
高津区防災まちづくり推進事業 自助・共助（互助）・公助の取組を進め、高津区全体の地域防災力・災害対応力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民の防災意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○対象者の年齢や生活環境などの属性に応じた啓発活動の実施 ・未就学児及び小学生向け啓発活動の実施（H29） ●自主防災組織・避難所運営会議への運営支援 ●ネットワーク化による防災対応力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○高津区防災ネットワーク会議を通じた課題・解決策の検討・連携強化 ○「溝口駅周辺地域エリア防災計画」に基づく帰宅困難者対策の推進 ・一時滞在施設の確保、帰宅困難者対策訓練の実施 ●区災害対策本部の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ○効果的な初動体制の構築、研修・訓練等を通じた職員の対応力の向上 ・風水害対応研修・本部設置訓練等の実施 ●高津区総合防災訓練の実施 	継続実施				事業推進
交通安全の普及啓発事業 対象者の年齢や生活スタイルに合わせた啓発活動を通じて、区民の交通安全に対する意識を高め、事故のない安全なまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全に対する意識向上に向けた啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・保育園児、小学生、高齢者対象の交通安全啓発活動の実施 ○中学生・高校生対象の安全教室（スクエアストリート方式）の開催 ○企業等を対象とした自転車交通安全研修の実施 ●警察署や地域の交通関係団体等と連携した啓発活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○まちかど交通安全アピール活動、早朝街頭指導の実施 	実施回数：2回 (高津地区・橋地区) ※関連する事務事業：施策1-1-1「地域防災推進事業」	実施回数：2回 実施回数：2回 実施回数：2回	実施回数：2回 実施回数：2回 実施回数：2回	実施回数：2回 実施回数：2回 実施回数：2回	事業推進 事業推進 事業推進
高津区放置自転車対策事業 交通の妨げとなる放置自転車の解消に向けて啓発活動等を行い、通行環境の改善を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道駅における放置禁止区域に関する啓発活動の実施 	週1回実施	・自転車利用者のマナー向上のための啓発活動の実施			事業推進

- 総論
- 10年戦略
- 基本政策1
- 基本政策2
- 基本政策3
- 基本政策4
- 基本政策5
- 区計画
- 進行管理・評価

政策体系別計画

区民との協働で進める環境まちづくりの推進

主な取組の方向性

「エコシティたかつ」推進方針に基づき、「地球温暖化緩和策・適応策」、「生物多様性保全」及び「流域」をキーワードに、学校ビオトープを活用した環境学習「学校流域プロジェクト」や「たかつの自然の賑わいづくり事業」など、区民・学校・企業など多様な主体との協働により、環境まちづくりに向けての各種プロジェクトに取り組みます。

事業名	事業内容・目標					
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
「エコシティたかつ」推進事業 地球温暖化等に対する取組を、地域レベルにおいて多様な主体との連携により推進し、持続可能な社会（エコシティ）の形成をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●区内小学校等のビオトープを活用した環境学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校流域プロジェクト」実施回数：17回（H29） ・事業手法・内容の検討・実施 ●生物多様性・保水力向上を図る市民協働の実践的取組「たかつの自然の賑わいづくり事業」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○児童向けイベント「たかつ生きもの探検隊」・市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」の実施 H29実施回数：各1回 ●地球温暖化適応策・生物多様性保全に関する意識啓発及び「エコシティたかつ」の理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ○区内企業・団体で実施している取組等を見学する「たかつエコシティツアー」の実施 H29実施回数：1回 	実施回数：1回	実施回数：1回	実施回数：1回	実施回数：1回	事業推進
高津区環境まちづくり普及啓発事業 環境問題への対応に関して、区民が関心を持ちやすいテーマを取り上げながら普及啓発を行い、区民の環境意識の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民の環境意識向上に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校敷地丸ごと3D化プロジェクトの実施（H29） ●区役所庁舎を活用した環境配慮の取組に関する情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ○区役所庁舎（エコシティホール）の活用・整備 「エコシティホールツアー」参加者数：70名（H28） ・区役所庁舎における取組を紹介する「エコシティホールツアー」の実施 	各種普及啓発活動の実施				事業推進
花と緑のたかつ推進事業 区内各所に設置した花壇・コンテナ等の維持管理を区民と協働で実施し、潤いのあるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民協働による花と緑のまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「区民ミニガーデン」連絡会との協働による花壇・コンテナ等の維持管理 ●キラリテッキ円筒広場花壇の維持管理及び緑化の推進に向けた普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・花壇植栽体験を通じた緑化推進に向けた普及啓発 	継続実施				事業推進



楽しみながら自然の生態について学ぶ「たかつ生きもの探検隊」



区役所庁舎における取組を紹介する「エコシティホールツアー」

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画
進行管理・評価



地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標					
			現状 平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
高津区								
地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進								
	高津区音楽のまち推進事業	区内の音楽資源を活用し、区民や地域と協働して音楽イベントを行い、個性と魅力があふれ、愛着が持てるまちづくりを推進します。	●花コンサートの実施 ●高津区民音楽祭の開催 ●子どもの音楽文化体験事業の実施 ●サロンDEコンサート・ホールDEコンサート・親子DEコンサートの実施 ●高津クラシックコンサートの実施 ●ブラザ橋みんなど楽しむ音楽事業の実施					事業推進
	高津区子どもフェア事業	多摩川河川敷で、多くの仲間との遊びや創作活動を通して、河川愛護、自然の大切さを学ぶ場の提供や子どもの健全育成を図ります。	●高津区子どもフェアの実施					事業推進
	高津区総合ガイドマップ作成事業	日常生活に役立つ区の基本情報を区民に広く提供することにより、生活利便性の向上を図ります。	●区民アンケート等を踏まえた利便性の高いガイドマップの作成・配布					事業推進
	高津区区政情報発信事業	高津区の区政情報を区民に周知するため、多様な媒体を活用して効果的な情報発信を行います。	●ホームページやデジタルサイネージ等を活用した区政情報の発信					事業推進
	二ヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業	国登録有形文化財である久地円筒分水を区の観光資源、区民憩いの場として、区民と協働で維持管理を行います。	●ボランティアとの協働による美化活動の実施 ●美化活動体験イベントの実施 ●桜の維持等の専門的な維持管理 ●久地円筒分水80周年記念事業の検討・実施					事業推進
	高津区文化振興事業	区内の歴史的・文化的資源を中心に、地域の魅力を再発見する機会を提供し、ふるさと意識の醸成を図ります。	●高津のさんぽみちガイドツアーの実施 ●ガイド研修の実施					事業推進
多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進								
	親子運動会開催事業	明るく住みよいまちづくりをめざし、運動会を通じて青少年の健全育成、親子のふれあいと健康増進、近隣相互の親睦を図ります。	●高津地区親子運動会の開催 ●橋地区親子運動会の開催					事業推進
	橋ふるさと祭り子どもイベント開催事業	子どもを中心とした地域交流の活性化と、橋地区の魅力と地域特性を知る機会を提供します。	●橋ふるさと祭りにおける子どもイベントの実施					事業推進
	区民祭開催経費	地域コミュニティの活性化を図るため、地域に密着した事業である高津区民祭の開催を支援します。	●区民により構成される高津区民祭実行委員会への後援名義使用承諾及び補助金の支出					事業推進
	かすみ堤保全活用事業	河川区域に再編入されたかすみ堤を地域住民と連携して保全・活用することにより、地域住民や訪れる方が安全に憩い、親しみ、散策し、集える場とするとともに、地域コミュニティの活性化を図ります。	●市による河川区域の占有に向けた調整及び維持管理 ●地域住民との協働による維持管理に向けた調整及び日常清掃等の実施					事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標					
			平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降	
高津区									
総合的な子ども・子育て支援の推進									
	高津区子ども・子育てフェスタ事業	子育て支援機関、団体等と協働し、子育て中の保護者へ関連する情報や保護者と子どもが楽しく過ごす場を提供します。	●子ども・子育てフェスタの実施						事業推進
	高津区待機児童対策推進事業	区内保育園の利用を検討する市民への情報提供の充実を図ります。	●高津区内保育園案内映像の制作と川崎チャンネル (YouTube) への公開 ●高津区子育て施設マップ (改訂版) の作成と配布						事業推進
すこやか・支え合いのまちづくりの推進									
	たかつ区健康福祉まつり事業	高齢者や子ども、障害者を含む多くの区民が交流を深め、健康や福祉について考える機会を提供します。	●たかつ区健康福祉まつりの実施						事業推進
安全・安心なまちづくりの推進									
	高津安全・安心まちづくり支援事業	地域の防犯活動を行う防犯パトロール隊の活動支援とともに、犯罪の抑止や交通事故の防止などの広報・啓発等を行い、安全・安心まちづくりの推進を図ります。	●地域住民、関係団体、行政が一体となった地域パトロールの実施						事業推進
区民との協働で進める環境まちづくりの推進									
	高津区民祭周辺環境対策事業	高津区民祭を環境意識の啓発の場として捉え、参加者、主催関係諸団体、事業者の環境意識の向上を図ります。	●高津区民祭におけるごみ分別等の啓発活動及び取組の実施						事業推進
区役所サービス向上事業									
	高津区役所サービス向上事業	便利で快適な区役所サービスの効率的・効果的・総合的な提供を推進します。	●区役所職員を対象とした接遇研修の実施 ●区役所及び関連施設の利便性向上に向けた取組の推進 ●来庁者の意見を聞くためのアンケートボックスの運用						事業推進
地域課題対応その他事業									
	高津区市民提案型協働事業	地域課題の解決に資する事業を市民団体等から募集、選定し、区と協働で実施します。	●前年度実施事業の評価 ●翌年度実施事業の募集・選定						事業推進
	高津区地域課題対応事業管理運営事業	高津区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行います。	●高津区地域課題対応事業を支える事務等の実施						事業推進
	高津区地域課題対応事業外部評価事業	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部評価委員による評価を行い、事業内容の見直し・改善や透明性の向上を図ります。	●前年度実施事業の外部評価の実施						事業推進
	高津区区民生活に関わるニーズ調査事業	区民のニーズに対応した効率的・効果的な事業を執行するため、区民アンケート調査を実施します。	●アンケート調査に向けた検討・実施						事業推進
区の新たな課題即応事業									
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施						事業推進



“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

● 未来に伝えたい高津の記憶 ～高津区ふるさとアーカイブ～

都市化とともに、街道沿いの蔵や商店など、江戸・明治期からのまちの記憶を留める建物は少なくなり、まちの風景や生活を記録した貴重な写真も失われつつあります。高津区では、区の記憶とも言える貴重な地域資料を保存し、次代に伝える取組を進めています。

事業が始まったきっかけは？

平成 24（2012）年、高津区制 40 周年を機に、写真を中心とした地域資料の保存、活用の考え方をまとめた「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」を策定し、区の歴史を物語る資料や風景などを撮影した古い写真等を収集・保存し、活用する取組を始めました。



溝口駅北口前（昭和 30 年代）

具体的な取組は？

○ 記憶を記録に ～デジタルアーカイブ～

収集した写真等約 2,600 点を WEB サイトで公開しています。写真は、テーマ、年代、地図から簡単に検索することができます。また、スマートフォンアプリで昔の写真と比較しながらまち歩きを楽しむことができます。



まちの記憶を残す「おはなしアーカイブ」インタビュー風景

○ まちのこぼれ話を拾う ～おはなしアーカイブ～

地域に古くからお住いの方の日常生活等のお話をうかがい、インタビュー内容を WEB サイト等で公開しています。郷土史とはまた別の視点から、高津区のまちの移り変わりを知ることができます。

○ 区民協働で進めるアーカイブ

市民団体からの事業提案によるアーカイブ事業にも取り組んでいます。平成 29（2017）年度には、高津区の玄関口である溝口駅周辺の移り変わりを伝え、その魅力を再発見する『「わが街、たかつ」溝口駅周辺アーカイブ事業』を実施。アーカイブの更なる充実に向け、区民の皆さんとともに取組を進めています。



懐かしい風景に多くの方が足を止めた写真展

今後の展望は？

高津区は平成 34（2022）年度に区制 50 周年を迎えます。半世紀の節目に向け、引き続き写真などの資料収集を進め、未来にその記憶を伝えるとともに、身近にありながら知らなかった『高津』を再発見するツールとして、また、高津のまちにより一層愛着を持っていただく機会としてアーカイブが活用されるよう取組を進めていきます。

★ 市民の想い、メッセージ

- 大山街道を中心として、昔の建物・遺跡などをできるだけ残して若者へ伝承していきたい。
- 住んでいる街のことをよりよく知ることができ、もっと好きになりました。

『「わが街、たかつ」溝口駅周辺アーカイブ事業』写真展来場者アンケートより

● 地域の連携・交流で賑わいのあるまちへ

高津区では賑わいのあるまちづくりのために、地域で活動する団体の皆さんや他の自治体との連携や交流を図る取組を進めています。人と人との交流がまちの活力を生み出す原動力の一つとなることから、連携や交流の輪が広がるまちづくりを目指しています。

具体的な取組は？

○ 渡し舟で多摩川を往来！ ～二子の渡し体験～

江戸時代には大山詣りの参拝客などで賑わった旧大山街道「二子の渡し」。その歴史を学び、体験することを目的に「二子の渡し」を再現するイベントを開催。地域で活動する団体の皆さんに協力いただき、川崎市側・世田谷区側両岸に会場を設けイベントを実施しています。



往時の旅人の気分を味わいます

○ 世田谷区からも渡し舟が！ ～宇奈根の渡し～

同じ「宇奈根」の地名でつながる地域の子どものための交流を目的とした「宇奈根の渡し」（世田谷区喜多見児童館主催）。高津区の地元町会や団体も開催に協力し、多くの子どもたちが参加しています。

○ 災害時に備えた連携も！ ～帰宅困難者対策～

帰宅困難者対策の強化を図るため、「溝口駅周辺地域エリア防災計画」を平成29（2017）年度に策定する予定です。この計画の内容検討等を行う協議会には、世田谷区の職員にも参加いただいております。災害時における連携強化に向けた取組を行っています。

区民車座集会在新たな連携・交流のきっかけに！

平成29（2017）年7月に開催した区民車座集会。高津区・世田谷区で活動する8団体に参加いただき、地域のつながりづくりなど日頃の取組を交えて市長と意見交換を行いました。参加者からは、「連携のアイデアをもらった」「色々な団体と一緒に活動できると感じた」など今後の連携・交流の可能性を実感する内容となりました。



連携・交流の可能性を意見交換
「区民車座集会」

今後の展望は？

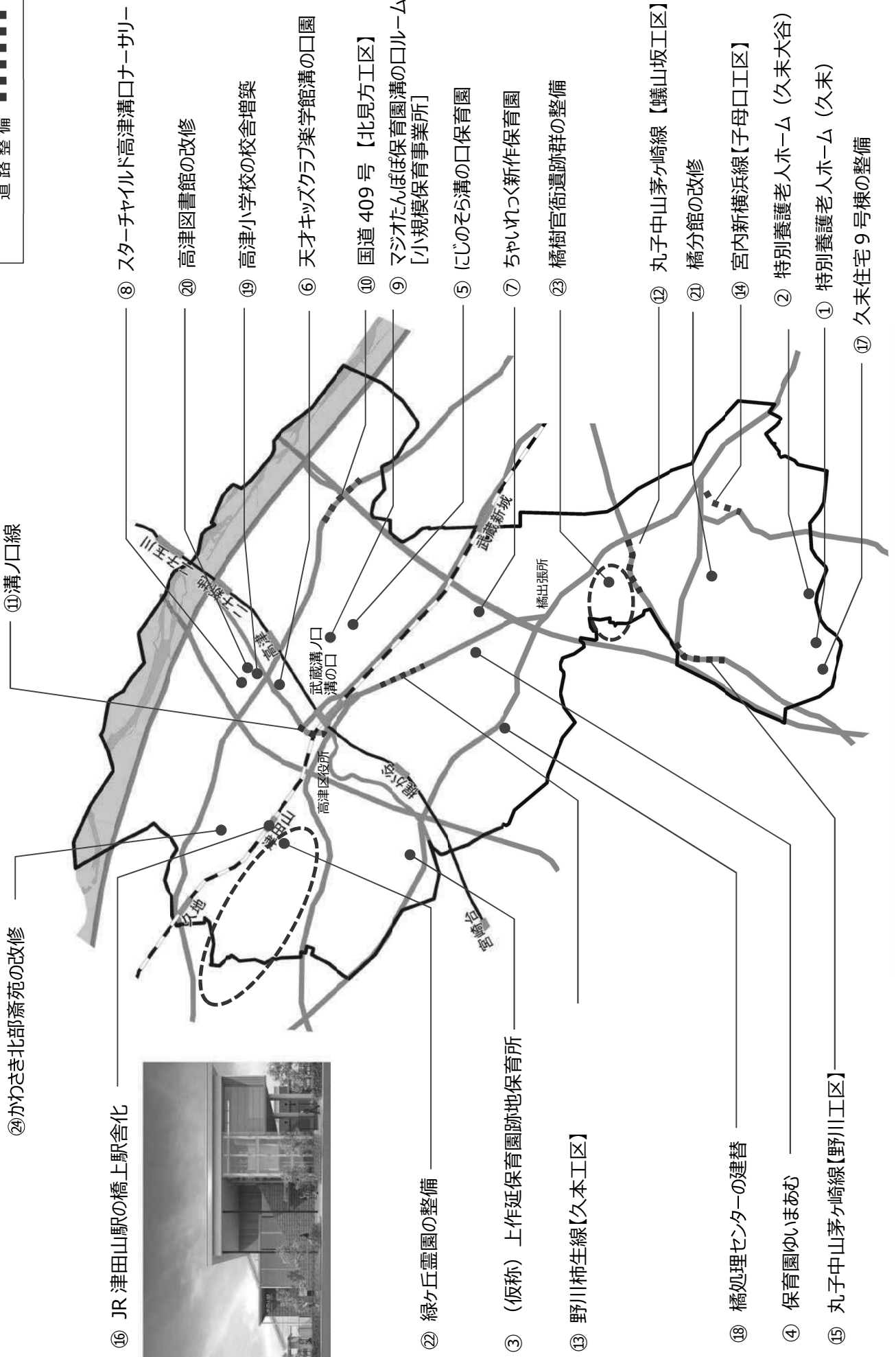
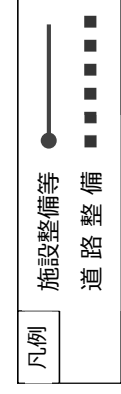
区役所だけではできないことや一つの団体だけではできないことも、得意分野を持つ他の団体とつながっていくことで、新しい可能性が広がります。地域でまちを盛り上げる活動をしている団体の皆さんと交流・連携するほか、団体間の連携・交流の橋渡し役を区役所が担うことにより、賑わいのあるまちづくりを進めていきます。

★ 市民の思い、メッセージ

- 行政区を越えたイベント・交流はどちらの住民にとってもプラスになると思う。
- 高津区・世田谷区がつながり、モデルケースとなることで他自治体も活発になっていくと思う。

「区民車座集会」傍聴者アンケートより

高津区マップ



区のマップとの対応表

● 福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
特別養護老人ホーム（久末）	H30(2018)	122床 短期入所 14床	①
特別養護老人ホーム（久末大谷）	H31(2019)	110床 短期入所 11床	②
（仮称）上作延保育園跡地保育所	H30(2018)	150人	③
保育園ゆいまあむ	H30(2018)	60人	④
にじのそら溝の口保育園	H30(2018)	50人	⑤
天才キッズクラブ楽学館溝の口園	H30(2018)	60人	⑥
ちやいれっく新作保育園	H30(2018)	60人	⑦
スターチャイルド高津溝口ナーサリー	H30(2018)	60人	⑧
マジオたんぼ保育園溝の口ルーム 【小規模保育事業所】	H30(2018)	19人	⑨

● 道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
国道 409 号【北見方工区】	道路拡幅	事業推進	⑩
溝ノ口線	道路拡幅	事業推進	⑪
丸子中山茅ヶ崎線【蠟山坂工区】	道路拡幅	H33(2021) 完成	⑫

野川柿生線【久本工区】	道路拡幅	事業推進	⑬
宮内新横浜線【子母口工区】	新設道路	事業推進	⑭
丸子中山茅ヶ崎線【野川工区】	道路拡幅	事業推進	⑮

● その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
JR 津田山駅の橋上駅舎化	駅へのアクセス向上を図るための 橋上駅舎化	H31(2019) 併用開始	⑯
久末住宅 9 号棟の整備	市営住宅の建替工事	H30(2018) 入居開始	⑰
橋処理センターの建替え	廃棄物処理施設の建替工事	H35(2023) 稼働	⑱
高津小学校の校舎増築	校舎の増築工事	H32(2020) 着手・完成	⑲
高津図書館の改修	高津図書館の長寿命化に伴う 改修	事業推進	⑳
橋分館の改修	橋分館の長寿命化に伴う改修	事業推進	㉑
緑ヶ丘霊園の整備	安定した墓所供給に向けた合葬 型墓所の整備	H31(2019) 利用開始	㉒
橋樹官衙遺跡群の整備	国史跡橋樹官衙遺跡群の保存 と史跡整備	事業推進	㉓
かわさき北部斎苑の改修	大規模改修	既存棟整備	H30(2018) 完成
		駐車場整備	H31(2019) 完成

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業）
地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進	
	○ 大山街道周辺整備活性化事業
	○ 「たちばな農のあるまちづくり」推進事業
	○ 高津区地域資源ネットワーク事業
	○ 高津区ふるさとアーカイブ事業
	高津区音楽のまち推進事業
	高津区子どもフェア事業
	高津区総合ガイドマップ作成事業
	高津区区政情報発信事業
	二ヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業
	高津区文化振興事業
多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進	
	○ 高津区地域連携スポーツ事業
	○ 地域コミュニティ施策推進事業
	○ 高津区まちづくり推進事業
	○ 高津区多文化共生推進事業
	○ ものづくりのまち推進事業
	親子運動会開催事業
	橘ふるさと祭り子どもイベント開催事業
	区民祭開催経費
	かすみ堤保全活用事業
総合的な子ども・子育て支援の推進	
	○ 子育て支援事業
	○ 子育て情報発信事業
	○ 子育てネットワーク推進事業
	○ 子育てグループ等活動促進事業
	○ こども未来事業
	高津区子ども・子育てフェスタ事業
	高津区待機児童対策推進事業
すこやか・支え合いのまちづくりの推進	
	○ 高津区地域包括支援ネットワーク推進事業
	○ 健やか地域推進事業
	○ 高津区こころのバリアフリー推進事業
	たかつ区健康福祉まつり事業
安全・安心なまちづくりの推進	
	○ 高津区防災まちづくり推進事業
	○ 交通安全の普及啓発事業
	○ 高津区放置自転車対策事業
	高津安全・安心まちづくり支援事業
区民との協働で進める環境まちづくりの推進	
	○ 「エコシティたかつ」推進事業
	○ 高津区環境まちづくり普及啓発事業
	○ 花と緑のたかつ推進事業
	高津区民祭周辺環境対策事業
区役所サービス向上事業	
	高津区役所サービス向上事業
地域課題対応その他事業	
	高津区市民提案型協働事業
	高津区地域課題対応事業管理運営事業
	高津区地域課題対応事業外部評価事業
	高津区区民生活に関わるニーズ調査事業
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業

宮前区



■人口 230,080 人

■世帯数 98,213 世帯

■面積 18.60 km²

(平成 30 (2018) 年 1 月 1 日現在)

宮前区の花

「コスモス」



宮前区の木

「サクラ」

総論

10年戦略

基本政策 1

基本政策 2

政策体系別計画

基本政策 3

基本政策 4

基本政策 5

区計画

進行管理・評価



宮前区の概要

- 宮前区は、多摩丘陵の一角に位置し、区内には、平瀬川、矢上川、有馬川の3つの河川が流れています。これらの川に挟まれて、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。
- 明治 22 (1889) 年の市制・町村制の施行に伴い、橘樹郡 (たちばなぐん) 宮前村 (みやさきむら) 及び向丘村 (むかおかむら) が誕生しました。両村は、昭和 13 (1938) 年に本市に編入され、昭和 47 (1972) 年に本市が政令指定都市に移行した後は高津区に属していましたが、昭和 57 (1982) 年に分区し、現在の宮前区となりました。
- 昭和 41 (1966) 年の溝の口から長津田間の田園都市線の開通、昭和 43 (1968) 年の東名高速道路・東名川崎インターチェンジの開通・開設などによる交通基盤の整備とともに、郊外住宅地としての開発が進みました。その結果、人口は、分区当時の約 15 万人から急速に増加し、平成 30 (2018) 年 1 月現在で約 23 万人となっています。
- 市内 7 区の中では生産緑地面積が最も広く、農産物直売所が区内各地に点在しているほか、公園緑地数も 2 番目に多いなど、身近に農や緑を感じることができます。また、旧石器時代の鷲ヶ峰遺跡や弥生時代の東高根遺跡、国史跡にも指定された橘樹官衙 (たちばなかんが) 遺跡群 (影向寺 (ようこうじ) 遺跡) などが存在し、歴史のある土地でもあります。

宮前区的主要地域資源・魅力など



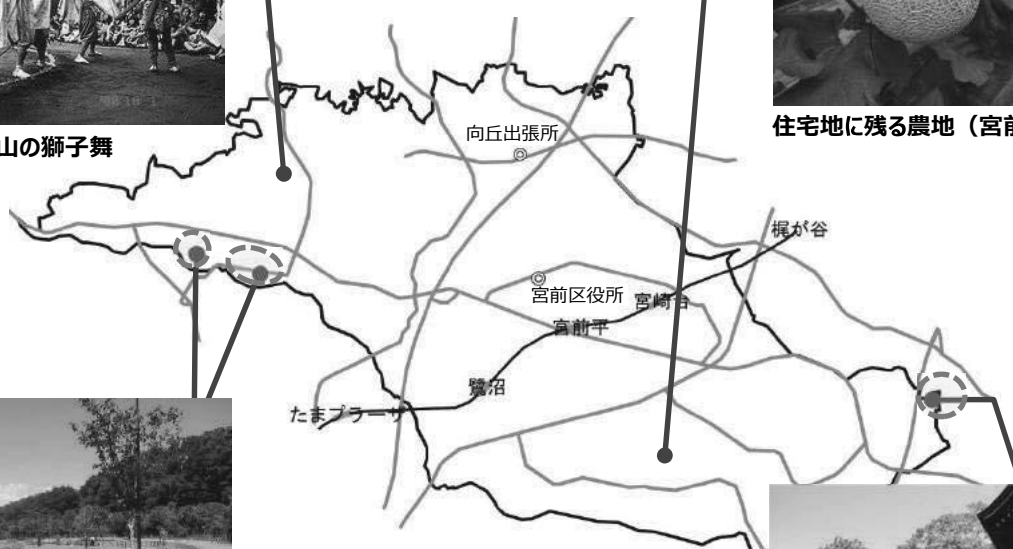
初山の獅子舞



住宅地に残る農地 (宮前メロン)



菅生緑地



影向寺 (橘樹官衙遺跡群)



まちづくりの方向性

「人が好き 緑が好き まちが好き」

- 宮前区は、起伏に富んだ多摩丘陵の一角に位置し、地域に根付いた歴史・文化、農のある風景や平瀬川の水辺、菅生緑地や身近な公園の豊かな緑などの多彩な地域資源に恵まれているとともに、多くの主体的に活動する区民に支えられてきたまちです。
- キャッチフレーズ「人が好き 緑が好き まちが好き」は、それぞれ「コミュニティ豊かな区民の和」、「豊かな自然」、「自然と区民の生活が調和する豊かな地域」を象徴しており、平成 5（1993）年に区制 10 周年を記念して区民により選ばれ、親しまれてきたものです。
- 今後も、区民が守り、大切に育んできた歴史・文化や農・自然などの多彩な地域資源を活かし、誰もが地域に愛着を持ち、生きがいを持って暮らせる、区民が主役のまちづくりを進めていきます。



第 1 期の主な取組状況

● 多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

多彩な歴史・文化、農や自然などの地域資源を活かし、歴史ガイドや農産物マップの配布、ウォーキングイベントや「響け！みやまえ太鼓ミーティング」の開催などにより、その魅力を区内外に発信することで、地域への愛着や活動への意識の醸成を図り、区民の主体的な活動によるまちづくりを推進しています。

● 地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進等

身近な課題解決に区民が主体的に取り組めるよう、市民館等の講座の「学び」と地域での「実践」を連携させ、さまざまな世代が地域課題に関心を持ち、自らが地域活動の担い手となるきっかけづくりや、「まちづくり広場ラブみやまえ」の開催や身近な公園での花壇整備等を通じ、団体間のネットワーク形成や活動の場づくりを進めています。

● 心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

元気な高齢者の多い長寿のまちであり続けることができるよう、区内約 50 か所で活発に行われている公園体操をはじめとする健康づくりや介護予防の活動の支援、若い世代への健康的な生活習慣の意識啓発を進めています。また、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現に向けて、医療や福祉に関する取組について大学と連携するとともに、互いに支え合う地域づくりを支援し、宮前区らしい地域包括ケアシステムを推進しています。

● 地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

乳幼児期から学齢期までの、切れ目のない子ども・子育て支援を進めるため、地域の子育て拠点でのサロン等の開催、「冒険遊び場」などの取組を区民と協働で推進するとともに、SNS やホームページ版子育てガイド「とことこ」などを効果的に活用し、子育てに関するさまざまな情報を発信・提供しています。

● 区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

防災活動の担い手づくりとして、地域の防災リーダーの育成や、中高生をはじめとする幅広い世代に広げる取組、総合防災訓練や防災フェアなどを通じた防災意識の啓発活動により、地域防災力の向上を図るとともに、防犯パトロール活動など、自助・共助（互助）の取組を支援し、安心して暮らせるまちをめざしています。また、多目的広場等を活用したスポーツに親しめる身近な環境づくりや、日常生活環境の向上など、区民・地域・行政が連携し、より快適に暮らせるまちづくりを進めています。



現状と課題

●区民の手で守り、育ててきた地域の魅力を次世代へと引き継ぎます。

- 宮前区は、国史跡に指定された影向寺遺跡や地域に根ざした伝統芸能などの歴史・文化、農のある風景や平瀬川流域の水辺、菅生緑地などの緑豊かな自然等、魅力ある地域資源に恵まれており、かわさき市民アンケートでは「公園や緑の豊かさ」や「家の周りの静けさ」など住環境の満足度が高い状況にあります。また、豊かな自然環境を活かした区民主体のまちづくりの取組が盛んで、区内外で高い評価を得ています。
- 今後も、魅力ある地域であり続けられるよう、より多くの区民が地域の魅力と大切さに気付き、次の世代へと引き継ぐことが求められています。

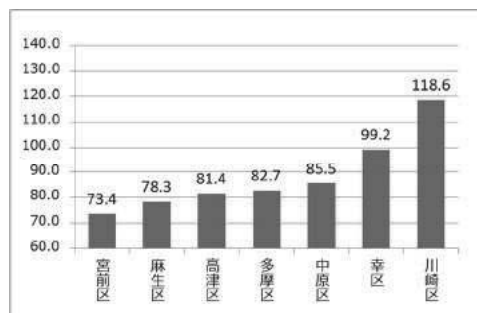


平瀬川流域の水辺

●昼夜間人口比率が 73.4%と市内で最も低くなっています。

- 昼夜間人口比率が 73.4%（平成 27（2015）年 10 月国勢調査）と市内で最も低くなっており、多くの区民が区外を日常生活圏としていることから、地域の魅力を知ること、地域への愛着や誇りを育むことが必要となっています。
- 地域包括ケアシステムの構築や地域防災力の向上など、地域の課題解決にあたっては、地域の一員としての自覚を高めるとともに、地域での活動のきっかけづくりや、人と人をつなげる地域コミュニティづくりが一層求められています。

昼夜間人口比率

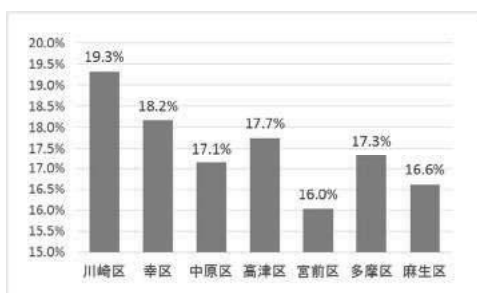


資料：平成 27（2015）年国勢調査

●急速に高齢化が進む中で、「元気な高齢者が多いまち」という長所を維持する取組が求められています。

- 宮前区は、男性の平均寿命が 82.1 歳（平成 22（2010）年 10 月国勢調査）と全国 2 位で、要介護認定率が 16.0%（平成 29（2017）年 3 月末現在）と市内で最も低いなど、元気な高齢者が多いまちです。この特長を維持していくためには、高齢者に加え、若年層に対しても健康づくりの大切さを伝えていくことが必要です。
- 一方、区内では今後、急速に高齢化が進んでいくことが見込まれ、また、ひとり暮らしで見守りが必要な高齢者など、支援が必要な区民も増えています。高齢者が地域で活躍できる場づくりやきっかけづくりとともに、それぞれの地域で区民が主体的に活動し、互いに支え合えるしくみづくりが求められています。

区別の要介護認定率

資料：健康福祉局資料
（平成 29（2017）年 3 月末現在）



●市内で最も子どもの割合が高く、安心して子育てできる環境の整備が求められています。

- 区内の0～14歳の人口の割合は、14.3%（平成29（2017）年9月末現在）と7区の中で最も高く、転入も多い状況です。また、「夫婦と子」のみからなる世帯の比率は、34.4%（平成27（2015）年10月国勢調査）と、これも7区の中で最も高く、区内には多くの核家族が暮らしています。
- 慣れない土地で育児をする保護者を含め、すべての子育て中の家庭が安心して子育てできるよう、さまざまな主体が連携して地域全体で子育てを支える環境を整備し、子ども・若者や保護者を支える必要があります。

区別年齢3区分別人口の割合

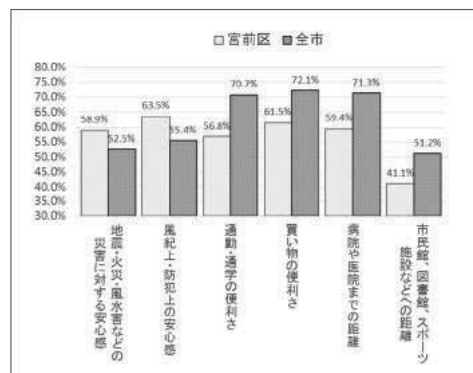


資料：区別年齢別人口（平成29（2017）年9月末現在）

●安全・安心で、快適なまちにしたいという区民の意識が高まっています。

- 平成28（2016）年度かわさき市民アンケートでは、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」や「風紀上・防犯上の安心感」など、安全性への満足度は市全体より高くなっているものの、「市政の仕事で今後特に力をいれてほしいこと」の1位に「防犯対策」が挙げられるなど、より一層、安全・安心なまちにしたいという区民の意識がうかがえます。
- 一方で、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」や「通勤・通学の便利さ」、「買い物の便利さ」など、利便性等への満足度が市全体の平均を下回っています。そのため、それぞれの地域で身近にスポーツや文化に親しめる環境づくりや、坂の多い地域の交通課題への対応をはじめとする生活環境向上など、区民と協働しながら、より快適に暮らせるまちづくりを進める必要があります。

生活環境満足度



資料：平成28（2016）年度かわさき市民アンケート



計画推進の主な視点

- 区内では今後、急速に高齢化の進展が見込まれることから、住民自らが、支えあいの活動の必要性を主体的に意識し、自発的に取り組むよう支援し、さまざまな団体、組織、機関等との協働・連携やシンポジウム、ワークショップ等を通じて、地域包括ケアシステムを推進する必要があります。
- 昼夜間人口比率が低い地域特性を踏まえ、地域住民が防災活動の担い手となるよう、防災リーダー等の人材育成を進めることや、避難所開設・運営の円滑化のために、小中学校と連携した実効性の高い防災訓練の実施により、地域防災力の向上を図ることが必要です。



計画期間の主な取組

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

主な取組の方向性

東京 2020 オリンピック・パラリンピックや平成 34（2022）年度の区制 40 周年を見据え、歴史・文化、農、自然などの地域資源の魅力の発信や参加型イベントの開催により、地域への愛着や活動への意識の醸成を図り、区民の主体的な活動によるまちづくりを促進します。

事業名	現状		事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降	
みやまえ太鼓ミーティング 開催事業 区内の和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の舞台も取り入れたイベントを行い、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた次世代の人材の発掘と育成につなげます。	●文化・伝統の保存・継承等に向けた取組の推進 ○和太鼓演奏や民俗芸能の発表などによる「響け！みやまえ太鼓ミーティング」の開催 H29参加団体数：12団体		参加団体数：和太鼓12団体、民俗芸能1団体 ・第20回記念イベント開催（8月）	参加団体数：和太鼓12団体、民俗芸能1団体	参加団体数：和太鼓12団体、民俗芸能1団体	参加団体数：和太鼓12団体、民俗芸能1団体	事業推進
	○区内の和太鼓団体を中心とした実行委員会による内容の検討、参加団体等との調整、事業の広報 ・会議等の開催、ポスター・チラシ作成		継続実施				
地域の魅力発信事業 「歴史的遺産」、「農」といった地域資源を活用し、地域をめぐるウォーキングイベントの実施や、マップの配布による情報発信を行い、郷土愛の醸成と多様な人材の参画による地域づくりを推進します。	●「歴史的遺産」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による宮前歴史ガイドの発行 ・配布の実施		・改訂に向けた調査、配布の実施	・改訂、配布の実施	・改訂に向けた調査、配布の実施	・改訂、配布の実施	事業推進
	○市民活動団体との協働による歴史ガイドまち歩きマップの発行 ・2コース改訂(H29) H29発行部数：各6,000部		・2コース改訂、発行及び配布の実施	・改訂に向けた全コース調査及び配布の実施	・2コース改訂、発行及び配布の実施	・2コース改訂、発行及び配布の実施	
	●市民活動団体との協働による「農」を活用した魅力発信 ○市民活動団体との協働による農産物直売所ガイド&マップの発行 ・改訂（H29） H29発行部数：10,000部		・配布の実施		・改訂、配布の実施		
	●ウォーキングイベントの開催による地域資源の魅力発信 ○市民活動団体との協働による、歴史的資源や地域の農資源、農に関する課題を紹介するまち歩きイベントの開催 H28イベント開催回数：6回		歴史ガイドでまち歩き：春2回、秋2回開催 農家巡りウォーキング：春1回、秋1回開催	歴史ガイドでまち歩き：春2回、秋2回開催 農家巡りウォーキング：春1回、秋1回開催	歴史ガイドでまち歩き：春2回、秋2回開催 農家巡りウォーキング：春1回、秋1回開催	歴史ガイドでまち歩き：春2回、秋2回開催 農家巡りウォーキング：春1回、秋1回開催	
宮前区スポーツ推進事業 区内スポーツ施設等を活用し、さまざまな世代がスポーツや健康づくりに親しめる環境づくりを進めます。	●フロントタウンさきぬまとの連携事業の実施 ○ポールウォーキング&ストレッチ教室、スポーツ体験会等の開催 H28教室等開催回数：43回		教室等開催回数：40回以上	教室等開催回数：40回以上	教室等開催回数：40回以上	教室等開催回数：40回以上	事業推進
	●スポーツふれあい事業の実施 ○ふれあいスポーツフェスティバルの開催 H28開催回数：1回（556人参加）		開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	
宮前区総合情報発信事業 テレビ番組とインターネットでの動画配信により、区内のさまざまな魅力・情報を発信します。	●紙媒体と連動した総合的な情報発信による「伝わる広報」の実現 ○ケーブルテレビ番組での放送 H29放送本数：3本		放送本数：3本	放送本数：3本	放送本数：3本	放送本数：3本	事業推進
	○インターネットでの動画配信 配信本数：3本		配信本数：3本	配信本数：3本	配信本数：3本	配信本数：3本	

総論

10年戦略

基本政策 1

基本政策 2

政策体系別計画

基本政策 3

基本政策 4

基本政策 5

区計画

進行管理・評価



地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

主な取組の方向性

身近な地域課題の解決に向けて、区民自らが主体的に取り組めるよう、地域活動の担い手となるためのきっかけづくりや人材育成、市民活動団体間のネットワーク形成等を促進するとともに、市民活動に必要な場の提供や環境整備を進めます。

事業名	事業内容・目標					
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
花と緑のあふれる住みよ いまづくり事業 区民が主体的に花壇管理、整備を推進し、区のイメージアップと、緑化活動団体の交流促進・技術向上等、地域の活性化と人材育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●公共用地での花壇づくりを契機とした地域コミュニティの形成支援 ○公園等を活用した花壇づくりのための緑化活動団体に対する花苗の提供 H28提供回数：1回 (36団体) 提供回数：1回 提供回数：1回 提供回数：1回 提供回数：1回 → 事業推進 ●緑化活動団体の活性化に向けた技術支援 ○講座、交流会の開催等による花壇づくりの技術支援 H29開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → ●東名川崎インターチェンジ前花壇づくりの実施による市・区のイメージアップ ○緑化活動団体、事業者との協働による花壇づくり H28活動回数：2回 活動回数：2回 活動回数：2回 活動回数：2回 活動回数：2回 → 					
まちづくり推進事業 宮前区まちづくり協議会を通して、市民活動団体を支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ることにより、区民主体のまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動の活性化に向けた市民活動団体の創出・育成支援 ○市民活動団体に対するスタートアップ支援 H29募集回数：1回 募集回数：1回 募集回数：1回 募集回数：1回 募集回数：1回 → 事業推進 (19団体支援) ●市民活動の活性化に向けた市民活動に係る情報発信 ○市民活動団体の取組紹介やまちづくりに関する広報紙の発行 ・隔月発行 継続実施 → ●市民活動の活性化に向けた市民活動団体の交流の場の創出 ○区民みんなでまちづくりを考える「まちづくり広場ラブみやまえ」の開催 H28開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → (760人来場) ●地域活動への意識醸成の推進 ○まちづくりに関する活動に取り組んでいる施設や市民活動団体を紹介する「まちづくりウォーキング」の開催 H28開催回数：2回 開催回数：2回 開催回数：2回 開催回数：2回 開催回数：2回 → ●地域を知る機会の創出 ○魅力ある施設や場所、市民活動団体を紹介する「フォトコンテスト」の開催 H28開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → (131点応募) 					
多様な主体が参画する子 どもあそびランド事業 「夏休み子どもあそびランド」を開催し、遊びを通じて多様な市民の交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●工作や昔遊びなどで楽しめる夏休み子どもあそびランドの開催 H29開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 → 事業推進 (3,000人来場) ●あそびの達人の育成 H29講座数：1講座 講座数：1講座 講座数：1講座 講座数：1講座 講座数：1講座 → (全3回) 					
地域活動の促進に向けた 人材育成及び推進体制 の整備事業 「宮前区地域人材育成に係る基本指針」に基づき、講座などを活用した地域人材の育成を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●「宮前区地域人材育成に係る基本指針」に基づく取組の推進 ○地域人材育成事業の講座等の開催 H29講座数：2講座 講座数：1講座 講座数：1講座 講座数：1講座 講座数：1講座 → 事業推進 (各5回) 					

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

主な取組の方向性

元気な高齢者の多い長寿のまちであり続けることができるよう、健康づくりや介護予防・認知症予防の活動を支援するとともに、障害者の自立支援・社会参画の推進に向けた取組や、大学と連携・協力した地域支援体制の基盤の整備などにより、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

事業名	現状		事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
地域包括ケアシステム推進事業 地域包括ケアシステムの構築に向け、区民等の互助の意識づくりと、関係団体の連携強化等の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民等の互助の取組支援と関係団体の連携強化に向けた取組の推進 ○ 地域課題の解決に向けたワークショップなどの開催を通じた住民相互の支え合いの推進 ・ワークショップを2地区で開催 (H29実績：4回) 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決に向けたワークショップの開催 			事業推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民等の互助の意識づくりや地域情報の共有化及び地域活動の支援 ○ 区民活動など地域に関する情報共有や互助の意識づくりを目的としたシンポジウムの開催 		H28開催回数：1回 開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回	開催回数：1回 開催回数：1回	→
しあわせを呼ぶコンサート開催事業 障害者施設の利用者が出演するコンサートを開催し、交流と相互理解を深め、心のバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者施設利用者が出演する「しあわせを呼ぶコンサート」の開催 ○ コンサートでのベートーヴェンの「第九」などの発表 		H28開催回数：1回 開催回数：1回	開催回数：1回 ・第20回記念コンサートの開催			事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者施設における音楽活動支援 ○ 声楽家の巡回による障害者施設利用者への合唱指導 		・10か所、5回ずつ延べ50回実施	・合唱指導回数、実施場所等の検証と今後の検討			→
地域支援整備事業 地域の大学と共同で区民の意識調査を行い、その成果を区の特性に応じた地域づくりや地域医療・福祉の向上の支援につなげていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 聖マリアンナ医科大学、田園調布学園大学との3者協定に基づく取組の推進 ○ 調査結果に基づく地域づくり・意識醸成の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・3者による協定に基づく住民意識調査の実施 (H28・29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉についての住民意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉についての意識醸成の促進 	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査結果を踏まえた個別支援の具体的方策の充実 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署・機関への調査結果の周知と連携強化 ・区民特性を踏まえた個別支援の充実 			<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識調査結果を踏まえた個別支援の充実 	→
	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査結果等の区民への共有と啓発 ・地域包括ケアシステムに関するシンポジウムでの共有 (年1回) ・啓発用チラシの配布 		継続実施				→
			継続実施				→

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価



地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

主な取組の方向性

地域の子育て活動に携わる区民と協働し、切れ目のない子ども・子育て支援を進めるとともに、各種情報メディアを効果的に活用することにより、さまざまな情報を発信・提供し、地域で安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

事業名	事業内容・目標					
	現状 平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
子育て情報発信事業 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; font-size: small;"> 情報誌やホームページ等を活用して、子育てに関する必要な情報を効果的に発信し、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て情報の普及に向けた広報 <ul style="list-style-type: none"> ○子育てガイド「とことこ」の配布 H29発行部数：7000部 ○ホームページ版子育てガイド「とことこ」による効果的な発信 H28月平均閲覧数：758件 H28平均イベント登録数：49件/月 ●フェイスブック、ツイッター、かわさきアプリ、地域包括ケアシステムポータルサイトによる情報発信・随時情報更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存内容の見直し、全面改訂及び配布の実施 継続実施 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂及び配布の実施 			→ 事業推進
宮前区子育て支援事業 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; font-size: small;"> 地域の特性を活かした子ども・子育て支援の充実を図ります。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●親と子の子育て応援セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ○保育に関するセミナーの連続開催 H29開催回数：8回 ●地域子育て支援センター土曜開所の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○土曜開所の実施 H29実施回数：12回 ●小学校入学を控えた子を持つ保護者向け相談会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○個人相談会・講演会の開催 H29開催回数：2回 ●保育所等を活用した地域支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○食育講座の開催 H29開催回数：15回 ●保育所、幼稚園等職員の人材育成と支援 <ul style="list-style-type: none"> ○職員研修の実施 H29実施回数：23回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：8回 実施回数：12回 開催回数：2回 開催回数：15回 実施回数：25回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：8回 実施回数：12回 開催回数：2回 開催回数：15回 実施回数：25回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：8回 実施回数：12回 開催回数：2回 開催回数：15回 実施回数：25回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：8回 実施回数：12回 開催回数：2回 開催回数：15回 実施回数：25回 	→ 事業推進
子ども支援ネットワーク事業 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; font-size: small;"> 地域社会全体で子ども・子育てを支えるしくみづくりの促進に向け、地域の情報や課題を共有し、子ども・子育てに係る関係機関、団体等のネットワークの強化を図ります。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●区内子ども・子育て関連団体間のネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ○子ども・子育てネットワーク会議の開催 H29会議開催回数：3回 ●子育て世代と地域とのつながり強化に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ○子育てグループ交流会、乳幼児を持つ親子向け交流会「うえるかむクラス」、サロン・広場等交流会の開催 H29子育てグループ交流会の開催回数：1回 H29うえるかむクラスの開催回数：3回 H29サロン・広場等交流会の開催回数：1回 	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催回数：3回 子育てグループ交流会の開催回数：1回 うえるかむクラスの開催回数：3回 	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催回数：3回 子育てグループ交流会の開催回数：1回 うえるかむクラスの開催回数：3回 サロン・広場等交流会の開催回数：1回 	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催回数：3回 子育てグループ交流会の開催回数：1回 うえるかむクラスの開催回数：3回 子育てグループ交流会の開催回数：1回 	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催回数：3回 子育てグループ交流会の開催回数：1回 うえるかむクラスの開催回数：3回 子育てグループ交流会の開催回数：1回 	→ 事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進化管理・評価

政策体系別計画

事業名	現状	事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
子ども包括支援事業 「こどもサポート南野川」におけるさまざまな課題を持つ子どもたちの居場所づくりと生活・学習支援など、きめ細やかな子ども子育て支援を行います。	●不登校などの課題を持つ子どもたちへの支援の推進 ○不登校児に寄り添った支援の実施 H29開所日数：198日	継続実施				事業推進
	●子ども・子育てに関する相談・情報提供の推進 ○こどもサポート南野川における子ども相談事業の継続実施 H28子ども・子育てに関する相談件数：434件	継続実施				
冒険遊び場活動支援事業 地域住民が主体となって行う「冒険遊び場」活動を支援し、次世代育成の場をつくることで、子どもたちのすこやかな成長と地域コミュニティの活性化をめざします。	●地域主体での子どもの外遊び「冒険遊び場」の開催支援 ○活動団体、担い手の拡充に向けた支援の実施 H29登録団体数：6団体	継続実施				事業推進
	H28冒険遊び場ネットワーク会議開催回数：11回	冒険遊び場ネットワーク会議開催回数：11回	冒険遊び場ネットワーク会議開催回数：11回	冒険遊び場ネットワーク会議開催回数：11回	冒険遊び場ネットワーク会議開催回数：11回	
	●事業の普及に向けた広報の推進 ○出張冒険遊び場やシンポジウムの開催による広報活動の実施 H28出張冒険遊び場開催回数：4回	継続実施				
	H29シンポジウム開催回数：1回	シンポジウム開催回数：1回	シンポジウム開催回数：1回	シンポジウム開催回数：1回	シンポジウム開催回数：1回	
○リーフレットの配布による広報活動の実施 H28リーフレット発行部数：7000部	・改訂及び配布の実施					

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

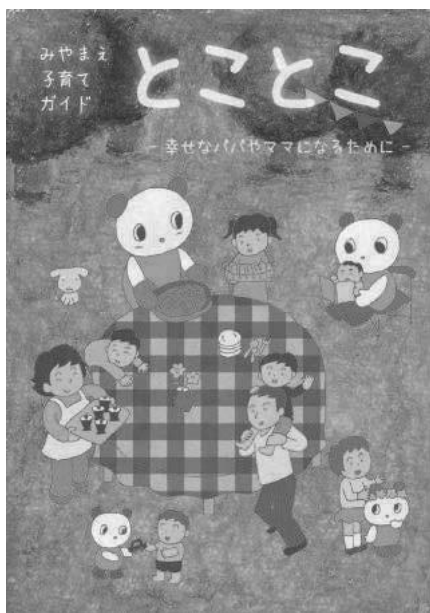
政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画
進行管理・評価



みやまえ子育てガイド「とことこ」



「冒険遊び場」活動風景



区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

主な取組の方向性

地域の防災リーダーの育成や防災意識の啓発活動、地域特性を踏まえた訓練の実施により地域防災力の向上を図るとともに、防犯に関する自助・共助（互助）の取組を支援します。また、スポーツに親しめる環境づくりや、地域課題への対応などに取り組みます。

事業名	現状	事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
安全安心まちづくり推進事業 地域の防犯パトロールやあいさつ運動の推進などにより、安全で安心して暮らせるまちをめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防犯対策の強化 ○地域防犯団体のパトロール活動への支援・用品貸与及び地域主催の防犯講習への支援（随時） ○地域防犯団体の落書き消し活動への支援・地域と連携した落書き消しの実施（年1回）、用品貸与（随時） 	継続実施				事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●区内中学校・高校におけるスクエアストリート方式の交通安全教室の実施 H28区内8中学校での開催回数：3回	開催回数：3回	開催回数：3回	開催回数：3回	開催回数：3回	事業推進
防災意識普及啓発事業 防災フェアの開催、防災ニュースの発行等を行い、区民の防災意識の向上と地域人材の育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●防災意識の醸成に向けた普及・啓発の実施 ○防災ニュースの発行 ○防災フェアの開催 H28発行回数：3回 H28開催回数：1回（700人参加）	発行回数：3回 開催回数：1回	発行回数：3回 開催回数：1回	発行回数：3回 開催回数：1回	発行回数：3回 開催回数：1回	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域における防災に関する人材の育成 ○地域防災の担い手となる防災推進員養成の促進 H29講座開催回数：3回 H29養成人数：50人	講座開催回数：3回 養成人数：50人	講座開催回数：3回 養成人数：50人	講座開催回数：3回 養成人数：50人	講座開催回数：3回 養成人数：50人	事業推進
地域防災力向上事業 地域防災連絡会議の開催、地域防災計画の推進により、地域防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の連携による防災力向上 ○地域防災連絡会議の開催 ・大会議1回、部会6回開催（H28）	・大会議1回、部会6回開催	・大会議1回、部会6回開催	・大会議1回、部会6回開催	・大会議1回、部会6回開催	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災力の向上のための避難所運営の活性化 ○自主防災組織が実施する会議・訓練の開催支援 H29開催か所数：18か所（25校中）	開催か所数：20か所	開催か所数：22か所	開催か所数：24か所	開催か所数：25か所	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所の環境整備 ○エアマットなどの資器材の配置 H29資器材配置か所数：9か所	配置か所数：8か所	配置か所数：8か所	配置か所数：9か所	配置か所数：8か所	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区総合防災訓練の実施 ○区民や学校と連携した実践的な訓練の実施 H29実施回数：2回 予定（大蔵中・鷺沼小）	実施回数：2回 ※関連する事務事業：施策1-1-1「地域防災推進事業」	実施回数：2回	実施回数：2回	実施回数：2回	事業推進

事業名	現状	事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
次世代まちづくり事業 宮前区における次世代につながる暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組を支援するとともに、関係局と連携して身近な生活課題の解決に向けた取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民の暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民や企業等、多様な主体の協働・連携による課題解決の取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体の協働・連携による課題解決に向けた検討・支援 (H29) ・各主体の特長や強みを活かした適切な役割分担による取組の推進 ○ 取組を通じた地域の輪づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・取組を通じた地域住民のつながりづくり ● 地域特性を踏まえた身近な生活課題の解決に向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決に向けた検討・取組の推進 ・身近な生活課題の解決に向けた調査研究 (H28) ・関係局と連携した身近な生活課題の解決方法の検討・取組の推進 					事業推進
宮前区スポーツ環境整備事業 既存施設の補修・整備を行うことで、より多くの区民がスポーツに親しみ、健康や体力の維持増進を図れる環境を作ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ利用のための西長沢公園多目的広場及び鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ダスト舗装等による維持管理 ・地域との協働による管理運営(鷺ヶ峰けやき公園多目的広場) ● 西長沢調整池の耐震補強工事に併せた西長沢公園多目的広場の整備に関する検討 <ul style="list-style-type: none"> ・整備内容の検討 	継続実施 継続実施				事業推進 事業推進
						神奈川県の耐震補強工事などに関する県等との協議・調整



「交通安全教室（スクアードストレート方式）」の様子



「防災フェア 2017」の様子

総論

10年戦略

基本政策 1

基本政策 2

政策体系別計画

基本政策 3

基本政策 4

基本政策 5

区計画

進行管理・評価



地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	現状					事業内容・目標	
			平成28～29 (2016～17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
宮前区									
多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進									
	地域情報発信事業費	ガイドマップや地域で行われている伝統行事やイベントを掲載した情報誌、地域の魅力を盛り込んだ冊子の作成等により、地域への関心を高め、コミュニティの活性化を図ります。	●各種刊物の作成・配布 ●宮前区PRキャラクターを活用した区の魅力発信					事業推進	
	みやまえカルタ活用事業	地域の魅力を発信する「みやまえカルタ」を活用し、世代間・地域間等の交流促進を図り、地域コミュニティの活性化につなげます。	●「みやまえカルタ」の販売・貸出					事業推進	
	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業	宮前区の歴史や昔の景観を世代間で共有することにより、区民のふるさと意識の向上を図ります。	●写真等資料の収集・展示					事業推進	
地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進									
	まちづくり支援事業	宮前区まちづくり協議会を通じて、区民と協働のまちづくりを効率的・効果的に推進するために、まちづくり専門家の意見や地域にとられない外部の立場からの提案、助言及び情報等を活用し支援します。	●まちづくりに係る社会・環境変化等に応じた適切なコンサルティングの実施					事業推進	
	みやまえスポーツふえすていばる開催事業	各種スポーツ大会を企画し実施することで、さまざまな世代がスポーツに親しむ機会を提供し、区民の健康増進と地域コミュニティの活性化を図ります。	●各種スポーツ大会の開催 ●区民が自主的に開催する大会への支援					事業推進	
	市民活動支援拠点のネットワーク事業	市民活動に必要な活動場所の確保や機能整備等を行い、活動団体の運営支援や情報発信を行うことで、地域コミュニティの醸成につなげます。	●市民活動の活性化に向けた活動の場等の提供、紹介					事業推進	
	みんなの道路公園事業	区民との協働により、公園の樹木への名札の取付を実施します。また、公園の清掃活動を通じて、公園緑地愛護会及び管理運営協議会の設立支援や活性化を図り、地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めます。	●区民との協働による樹名板の設置 ●区民参加型による公園等の清掃活動の実施					事業推進	
	町内会・自治会加入促進事業	地域コミュニティの形成に重要な役割を担っている町内会・自治会の広報活動・加入促進を支援します。	●町内会・自治会ガイドブックの作成・配布 ●加入促進に効果的な取組の検討・実施					事業推進	
	区民祭開催経費	区民の手作りによる宮前区民祭を開催することにより、世代間交流や地域コミュニティの活性化を図ります。	●宮前区民祭実行委員会による区民祭の開催					事業推進	
心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進									
	健康づくり支援事業	健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場についての情報を発信し、区民の健康づくりの実践を推進します。	●地域の活動の場等をリスト化し発行 ●認知症カフェ等マップの配布					事業推進	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標				
			平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
宮前区								
地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進								
	子ども自然探検隊事業	自然観察や里山遊びなど、親子で自然体験ができる機会をつくり、自然を大切にすることを育むとともに、その自然を守る地域活動に触れることで、地域に関心を持つきっかけづくりを行います。	●年4回程度のイベントの実施					事業推進
	友好都市交流事業	交流都市である長野県佐久市との物産観光交流や、宮前区の子どもたちが佐久市で自然体験や農業体験に取り組む事業を実施します。	●物産・観光交流事業の実施 ●子ども自然交流事業の実施					事業推進
区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進								
	子ども安全・安心見守り事業	登下校時の子どもたちを犯罪から守り、交通事故を防ぐために、宮前区子ども安全・安心協議会の運営・活動を支援し、子どもたちが安全・安心に暮らせるまちの実現をめざします。	●子ども安全・安心協議会の実施					事業推進
区役所サービス向上事業								
	区役所庁舎エコ化事業	庁舎の省エネルギー化を推進し、身近な省エネの取組として区民への啓発を行うとともに、庁舎利用の快適性と来庁者へのサービスの向上を図ります。	●照明設備のLED化の実施					事業推進
	みやまえロビーコンサート開催事業	区役所2階ロビーほか区内行政施設においてコンサートを開催することにより、区役所への親近感、イメージアップ、区民サービスの向上を図ります。	●区役所2階ロビー等における「みやまえロビーコンサート」の開催 ●第300回記念コンサートの開催					事業推進
	宮前区役所BGM配信事業	区役所庁舎内でBGMを流すことにより、区役所のイメージアップと来庁者へのサービスの向上を図ります。	●区役所庁舎内でのBGMの放送					事業推進
	バリアフリー推進事業	区役所庁舎及びその周辺のバリアフリー化を推進し、区民が安全に利用できる環境を整えます。	●区役所市民広場のタイルのノンスリップタイルへの張り替えの実施					事業推進
	窓口サービス向上事業費	来庁者が、区役所窓口を快適に利用していただくための環境整備を行います。	●毎年ワーキングチームを結成し、よりよい窓口サービスを提供するための在り方等の検討 ●転入者への各種手続案内チラシの作成及び配布 ●待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充					事業推進
	区役所サービス向上推進事業	区役所庁舎内において、快適な利用環境の実現と、サービスの向上を図ります。	●快適な庁舎利用環境の実現、サービス向上の推進					事業推進
地域課題対応その他事業								
	管理運営費	各地域課題対応事業の実施に必要な事務経費を適切に管理・執行します。	●管理運営費の管理・執行					事業推進
区の新たな課題即応事業								
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施					事業推進



“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

● 世代間の交流や相互理解の促進に向けて

多くの区民に親しまれ、長く続いているイベントの多い宮前区。これからも区民との協働で多様な世代・地域・団体が「つながる」イベントを開催することを通じて、区民の交流や相互理解が広がるよう、支援していきます。

みやまえ太鼓ミーティング ～伝統がつなぐ世代を超えた交流～

- 和太鼓の演奏をはじめ、地元の中学生による「宮前（みやさき）ねぶた」の披露や提灯の作成、地元保育園児による荒馬踊り、地域団体によるかがり火の設置など幼児から大人まで幅広い年齢層のさまざまな団体が集い、熱気あふれる舞台を作り上げることを通じて、地域・世代・団体間の交流を図っています。また、獅子舞や里神楽（さとかがら）など、区内に古くから伝わる伝統芸能に区民が触れる機会ともなっています。
- 公募区民や出演団体等で構成される太鼓ミーティング実行委員会が中心となって企画し、毎年夏に開催しています。



かがり火の下、夜遅くまで熱気あふれる太鼓を披露

しあわせを呼ぶコンサート ～音楽を通じたこころのバリアフリー～

- 区内の障害者福祉施設や作業所に通うさまざまな障害のある方が音楽家の指導のもとに練習を重ね、プロの演奏家、ソリストたちと同じ舞台に立ち、ベートーヴェンの「第九」を合唱します。地域の市民合唱団や福祉ボランティアと一体となって作り上げるコンサートには、毎年楽しみにしている多くの区民が集い、会場は温かい空気に包まれます。
- 各施設での食品、作品などの展示販売コーナーもあります。



(C)藤本史昭

「ベートーヴェンの『第九』を原語で歌いたい」というひとりの障害者の思いが結実

夏休み子どもあそびランド ～楽しく遊んで盛り上げる担い手育成にも注力～

- 宮前市民館に、「あそびの達人」の愛称で親しまれる、遊びやゲームの得意な人たちが集まります。市民館全館で「あそび」をテーマに中高生サポーターとともに、たくさんの遊びやゲームを子どもたちに教え一緒に楽しむ、世代を越えた人たちが集い交流する夏休みのイベントです。
- イベント当日は、サポーターとして参加する中高生、大学生を対象にサポーター養成講座を開催し、ボランティアとしての心構えや、実践するためのコツなどを学んでもらう、担い手作りにも取り組んでいます。



水で自由に遊ぶコーナーやベーゴマ、竹とんぼなど多彩なあそびを体験

★ 市民の想い、メッセージ

- 地域のさまざまな年齢・団体の方々が集まって、出演されていることがすごいと思いました。このような発表の場が継続されていくとよいと思います。（第19回太鼓ミーティングアンケート）
- 障害のある皆さんと地域の方々が合唱でつながり、しあわせな気持ちになれる大切な場として、毎年、コンサートの開催を心待ちにしています。（第18回しあわせを呼ぶコンサート参加者）

● 地域に広がる地域包括ケアシステムの取組

住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、区内のさまざまな場所で、地域に住む人たちが主体的につながりを強める取組や居場所づくりを行っており、地域全体の見守りや支え合いにつながっています。

土橋カフェ ～認知症の方を優しく包む地域の輪～

- 認知症の方やその家族はもちろん、誰もが気軽に立ち寄り、地域の人たちとつながりを持てる場です。地元の町内会を主体に、新旧の民生委員児童委員、老人クラブメンバー、地域ボランティアなどに加え、認知症専門医、認知症ケアアドバイザー、弁護士、地域包括支援センター職員などの専門家も運営に携わり、その場で問題解決の糸口を見つけることができます。
- 毎月第1水曜日の午後に土橋会館（町内会館）で開かれており、珈琲、抹茶などを飲みながら、合間には、時流に合った話題を専門家の講話で聴いたり、音楽家の歌唱・演奏を楽しんだり、さらに体幹を整え、脳と身体の連携を刺激する運動を行うなど、認知症予防にも効果が見込めるエクササイズを楽しむことができます。



音楽家の歌声を楽しみ、ともに歌う参加者

すずの家（や） ～地域のぬくもりを感じる安らぎの居場所～

- ボランティアグループ「すずの会」が、住み慣れたまちで暮らし続けられることを願い、人のぬくもりを感じる地域の居場所として、一軒家を借りて運営しています。毎週水曜日と土曜日の10時から16時には会食の場を提供し、支援が必要な高齢者とともに美味しい食事を囲み、地域の人と楽しみながらつながりを持てる安心の場となっています。
- 地域包括支援センター、介護事業所、行政などとも連携しており、誰でも気軽に相談ができる地域の人たちに開かれた楽しめる場ともなっています。



相談もでき、誰でも集える地域の居場所「すずの家」

稗原ゆ～ず連絡会 ～若い人も巻き込む多彩な取組を通じた地域のつながりづくり～

- 稗原地区7つの自治会をエリアに、地元自治会とともに、教育、障害、高齢者、医療、介護など生活に密着した施設が共同で、区役所や小学校などと連携して地域の方々を総合的にサポートする体制を作っています。イベントの企画や勉強会の実施のほか、高齢者、障害者、子育て、医療、福祉など各種相談窓口を開設しています。
- まず、家から出かけるきっかけとなる場を作ることにより、そこが人と出会う場、健康を維持する場、“知らないことで抱く偏見”を知ることで取り除いていく場、そして若い人の活動の場となる取組を行っています。



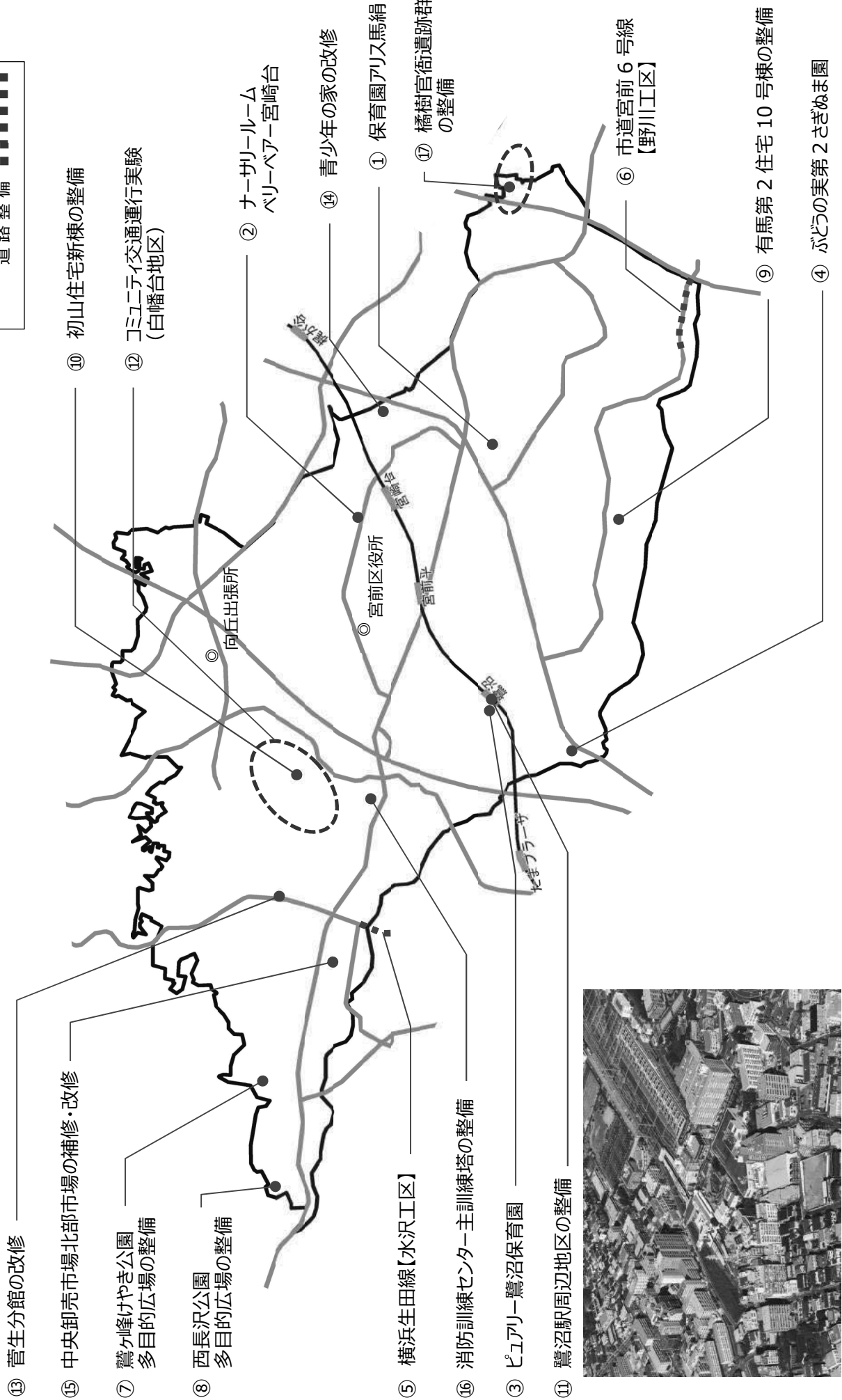
★ 市民の想い、メッセージ

- 地域の人との交流が必要だといわれる理由として、「地域の防犯、治安」「いざというときの助け合い」などがあげられます。日常で地域の人と信頼関係を作ることが重要だと思います。
- コミュニティカフェは、人と人がつながる場。地域に喜ばれ、世代を問わない、誰でも気軽に來ることのできるカフェの形態が望まれます。

(地域のつながりワークショップ「みんな違ってみんないい！コミュニティカフェのか・た・ち」での意見)

宮前区マップ

凡例	
●	施設整備等
—	道路整備
■	道路整備



区のマップとの対応表

● 福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
保育園アリス馬絹	H30(2018)	120 人	①
ナーサリールームペリーヘアー宮崎台	H30(2018)	60 人	②
ピュアリー鷺沼保育園	H30(2018)	40 人	③
ぶどうの実第 2 さざめ公園	H30(2018)	60 人	④

● 道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
横浜生田線【水沢工区】	新設道路	H33(2021) 完成	⑤
市道宮前 6 号線【野川工区】	道路拡幅 新設道路	事業推進	⑥
鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の整備	広場の維持管理・補修	事業推進	⑦
西長沢公園多目的広場の整備	広場の維持管理・補修	事業推進	⑧

● その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
有馬第 2 住宅 10 号棟の整備	市営住宅の建替工事	H30(2018) 入居開始	⑨
初山住宅新棟の整備	市営住宅の建替工事	H34(2022) 入居開始	⑩
鷺沼駅周辺地区の整備	鷺沼駅前地区の市街地再開発事業	H33(2021) 工事着手	⑪
コミュニティ交通運行実験 (白幡台地区)	本格運行の実施に向けた取組	H30(2018) 実施	⑫
菅生分館の改修	菅生分館の長寿命化に伴う改修	事業推進	⑬
青少年の家の改修	青少年の家の長寿命化に伴う改修	事業推進	⑭
中央卸売市場北部市場の補修・改修	市場機能の維持・向上のための補修・改修	事業推進	⑮
消防訓練センター主訓練塔の整備	訓練施設の改築工事	H30(2018) 完成	⑯
橋樹官衙遺跡群の整備	国史跡橋樹官衙遺跡群の保存と史跡整備	事業推進	⑰

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業）
多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進	<input type="radio"/> みやまえ太鼓ミーティング開催事業 <input type="radio"/> 地域の魅力発信事業 <input type="radio"/> 宮前区スポーツ推進事業 <input type="radio"/> 宮前区総合情報発信事業 地域情報発信事業費 <input type="radio"/> みやまえカルタ活用事業 <input type="radio"/> 宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業
地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進	<input type="radio"/> 花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業 <input type="radio"/> まちづくり推進事業 <input type="radio"/> 多様な主体が参画する子どもあそびランド事業 <input type="radio"/> 地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業 まちづくり支援事業 <input type="radio"/> みやまえスポーツふえすていばる開催事業 <input type="radio"/> 市民活動支援拠点のネットワーク事業 <input type="radio"/> みんなの道路公園事業 <input type="radio"/> 町内会・自治会加入促進事業 <input type="radio"/> 区民祭開催経費
心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進	<input type="radio"/> 地域包括ケアシステム推進事業 <input type="radio"/> しあわせを呼ぶコンサート開催事業 <input type="radio"/> 地域支援整備事業 <input type="radio"/> 健康づくり支援事業
地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進	<input type="radio"/> 子育て情報発信事業 <input type="radio"/> 宮前区子育て支援事業 <input type="radio"/> 子ども支援ネットワーク事業 <input type="radio"/> 子ども包括支援事業 <input type="radio"/> 冒険あそび場活動支援事業 <input type="radio"/> こども自然探検隊事業 <input type="radio"/> 友好都市交流事業
区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進	<input type="radio"/> 安全安心まちづくり推進事業 <input type="radio"/> 防災意識普及啓発事業 <input type="radio"/> 地域防災力向上事業 <input type="radio"/> 次世代まちづくり事業 <input type="radio"/> 宮前区スポーツ環境整備事業 <input type="radio"/> 子ども安全・安心見守り事業
区役所サービス向上事業	<input type="checkbox"/> 区役所庁舎エコ化事業 <input type="checkbox"/> みやまえロビーコンサート開催事業 <input type="checkbox"/> 宮前区役所BGM配信事業 <input type="checkbox"/> バリアフリー推進事業 <input type="checkbox"/> 窓口サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 区役所サービス向上推進事業
地域課題対応その他事業	<input type="checkbox"/> 管理運営費
区の新たな課題即応事業	<input type="checkbox"/> 区の新たな課題即応事業

多摩区



■人口 216,475 人 ■世帯数 109,473 世帯
 ■面積 20.39 km² (平成 30 (2018) 年 1 月 1 日現在)

多摩区の木



「ハナズキ」



「ナシ」

多摩区の花



「モモ」



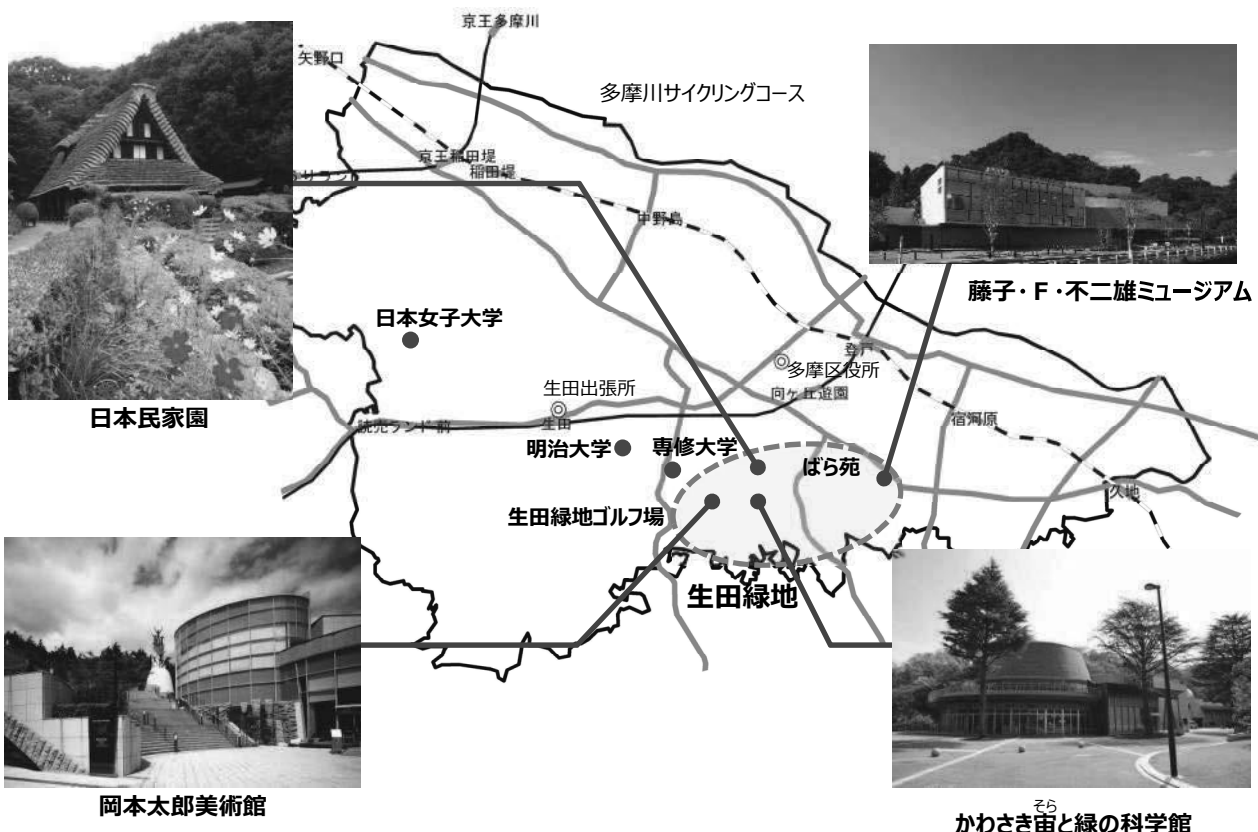
「スミレ」



多摩区の概要

- かつての稲田村、生田村そして向丘村（むかおかむら）の一部からなる現在の多摩区は、昭和 47（1972）年に本市が政令指定都市に移行した際に誕生し、市民の公募で区名が決定されました。昭和 57（1982）年の行政区再編では区の西部が「麻生区」として分区し、現在の区域に至っています。
- 多摩区は本市の西北端に位置し、多摩川によってできた沖積平野と多摩丘陵の丘陵地で形成され、都市部には貴重な「水と緑」に囲まれています。
- 首都圏を代表する緑豊かな生田緑地には、世界的にも著名な芸術家・岡本太郎の作品を収蔵した「岡本太郎美術館」や、東日本の代表的な古民家を集めた「日本民家園」、世界最高水準の星空を映す「かわさき宙（そら）と緑の科学館」、そして世界的に人気のあるまんが「ドラえもん」などの原画が鑑賞できる「藤子・F・不二雄ミュージアム」と、個性豊かな文化・教育施設が点在し、市内有数の観光名所となっています。
- 昭和 30 年代に都市化が急速に進んだ菅や中野島の住宅地でも、かつて「多摩川梨」の栽培が盛んだった農村地帯としての景観も随所に見られます。
- また、市内を南北につなぐ J R 南武線が登戸駅で小田急小田原線と、稲田堤駅では京王相模原線と交差し、都心への交通の便が良いこともあり、区内就業者の約半数が、都内に通勤しています。
- さらに、専修大学、明治大学、日本女子大学の 3 つの大学が立地していることも大きな特徴です。

多摩区的主要地域資源・魅力など



総論

10年戦略

基本政策 1

基本政策 2

政策体系別計画

基本政策 3

基本政策 4

基本政策 5

区計画

進行管理・評価



まちづくりの方向性

水と緑と学びのまち ～うるおい豊かな住み続けたいまちへ～

- 多摩川や二ヶ領用水などの「水辺」、多摩川崖線軸の斜面緑地や生田緑地などの「緑」、そして区内に立地する大学などの知的資源を活かした「学び」など、多摩区は魅力あふれる地域資源の豊かなまちです。
- これまで培ってきた多くの魅力や価値を引き継ぎ、高めながら、区民一人ひとりがうるおいやあたたかい地域のつながりを身近に感じ、これからも住み続けたいと実感できる、すこやかに安心して暮らせるまちづくりを進めます。



第 1 期の主な取組状況

● 地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

豊富な地域資源をまちの活性化につなげることが求められていることから、多摩区観光協会など多様な主体と協働し、30代の子育て世代をはじめとするファミリー層を主なターゲットに、「ピクニックタウン多摩区」をテーマとし、生田緑地でのピクニックデーやサンドイッチレシピコンテストを開催するなど、まちへの愛着や満足度の向上を図り、訪れる人も住む人も、家族で楽しむことのできる賑わいと魅力あるまちづくりを進めています。

● 災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

多摩区防災フェア、防災セミナー、防災教室での災害に対する意識啓発、避難所運営会議での避難所開設訓練の支援などを行っています。平成 29（2017）年度からは地域特性に応じた区防災訓練を実施しており、誰でも参加できる体験型訓練を導入するなど区民の防災意識の向上を図りながら、更なる自助・共助（互助）による地域防災力の向上に結びつける取組を進めています。

● たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

子育てサロンなど交流の場づくりや、子育ての不安・悩みを気軽に相談できる機能の充実を図っているほか、区民との協働による自然環境を活かした外遊びなどを通じて、多摩区をふるさととする「たまっ子」を区民みんなで育てる取組を進めています。また、保護者や子どもに接している団体、関係機関などが抱えている課題や今後の取組について、ワークショップなどを通して情報交換を行う「たまっ子育成会議」を開催し、子育てに関する取組を進めています。

● すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域資源や課題を把握し、区民やボランティア・関係団体などとともに自助・互助による地域づくりを進めています。平成 28（2016）年度に実施したモデル事業では、ワークショップなどを通じて住民自らが課題を認識し、解決に向けた取組を行うなど多世代による支え合いの地域づくりが進められています。また、地域が主体となった健康づくりや介護予防などの取組の支援、在宅診療の充実に向けた医療・介護の連携の強化、地縁組織や多様な主体がつながるための支援などを行い、誰もが安心して暮らすことのできる持続可能な地域社会の実現に向けた取組を進めています。

● 市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

地域人材の育成・発掘を行うとともに、市民活動相談や、市民活動団体と地域人材をつなぐ取組を実施し、区民が自ら地域の課題を発見し、解決する取組の支援を行っています。また、区内の 3 大学と連携し、大学の専門性や知的資源を活かした地域課題解決のための取組や大学による公開講座、学生による区民向けコンサートなどを実施することで、大学と地域社会の交流を深め、双方の活性化につながる取組を進めています。



現状と課題

●多摩川や生田緑地などの自然環境、歴史や未来を感じる文化施設。個性豊かな地域資源が輝きます。

- 多摩川や二ヶ領用水などの水辺環境にも恵まれ、首都圏でも有数の自然環境を残す生田緑地を有するなど、豊かな自然があふれる区です。また、平成 29（2017）年に開園 50 周年を迎えた「日本民家園」や「藤子・F・不二雄ミュージアム」など個性豊かな地域資源が数多く存在しています。
- これらの地域資源を活かして、区の魅力を積極的に内外に発信し、多摩区に住みたい、住み続けたいと思えるように、地域への愛着や誇りを高める取組を進めるとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機として、多くの方が訪れるような取組を行い、地域の活性化につなげる必要があります。

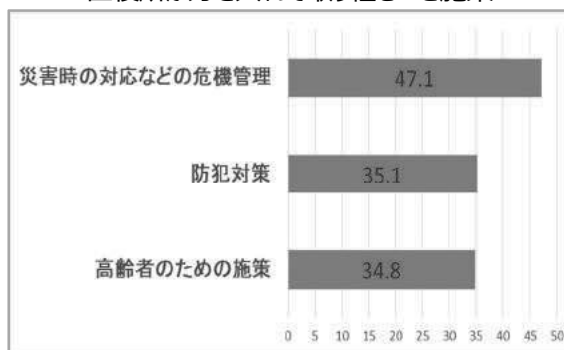


生田緑地東口ビジターセンター

●安全で安心して暮らせるまちづくりの区民の意識が高くなっています。

- 北部には多摩川、五反田川などの河川が流れ、南部には 179 の土砂災害警戒区域が指定（平成 29（2017）年 11 月現在）されており、自然災害が発生しやすい地域特性を持っています。稲城市や狛江市などの隣接自治体と、日頃から災害時に備えた連携を進めていく必要があります。
- また、交通事故件数は減少傾向であるものの、自転車事故の割合が高く「自転車事故多発地域」に指定されていることから、自転車利用者の交通ルールやマナーを遵守するよう一層の啓発に取り組む必要があります。
- 平成 28（2016）年度区民意識アンケートでは、区役所が力を入れて取り組むべき施策として「災害時の対応などの危機管理」が最も高くなっており、安全・安心に対する区民意識が高いことがうかがえます。

区役所が力を入れて取り組むべき施策



資料：平成 28（2016）年度 区民意識アンケート

●乳幼児の保護者の 71.3%が子育てについて心配や不安を抱えています。

- 平成 28（2016）年度区子ども・子育て支援活動報告では、区内で実施される年間 131 の子育て支援に関する事業のうち半数以上が月 1 回以上開催されており、日頃からきめ細やかな事業が展開されているものの、平成 29（2017）年度に実施した区子ども・子育て実態調査によると、乳幼児の保護者の 71.3%が子育てについて心配や不安を抱えています。
- 支援を必要とする保護者に的確な情報提供を行い、活発な地域活動に結びつけるとともに、子育て支援団体や関係機関などが一層連携し、地域が一体となった子育てしやすい環境づくりに取り組むことが求められています。



自然の中で、思いっきり外遊び



● 単独世帯の割合が市内で最も多く、高齢化率が30%を超える地域があります。

- 区全体の高齢化率は19.5%（平成29（2017）年9月末現在）ですが、既に30%を超える地域も点在している状況です。
- 単独世帯の割合は48.7%（平成27（2015）年10月国勢調査）と市内で最も多く、平成28（2016）年度区民意識アンケートでは、困ったときに近所に手助けを頼める人がいないと答えた人は50.6%という結果になっており、地域特性に応じた多世代で支え合う地域づくりが課題となっています。

町丁別高齢化率（上位5町丁）

1	寺尾台2丁目	34.9%
2	長尾6丁目	33.4%
3	三田3丁目	31.7%
4	生田4丁目	30.7%
5	南生田5丁目	29.0%
多摩区全体		19.5%

資料：市町丁別年齢別人口

平成29（2017）年9月末現在

● 大学の知的資源を活用し、大学と地域の交流を一層推進していく必要があります。

- 区内には知的資源や多彩な人材を有する3つの大学があります。平成28（2016）年度区民意識アンケートでは46.3%が「知っている3大学関連の取組・イベントはない」との結果が出ています。
- その一方で、多摩区・3大学連携協議会が平成28（2016）年度に行った区民ニーズ調査では「公開講座など地域向けの大学の情報がほしい」という回答が最も多く、今後、大学の知的資源を活用し、大学と地域の交流を一層促進していく必要があります。



多摩市民館で開催する多摩区3大学コンサート

● 登戸土地区画整理事業は、平成37（2025）年度の事業完了をめざしています。

- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、商業・業務の中心地区としてふさわしいまちをめざして、登戸土地区画整理事業が進められています。これまでの進捗率は、平成29（2017）年7月末現在で、仮換地指定率が約81.4%、宅地使用開始率が約56.3%となっています。
- 長期化する事業を着実かつ効果的に推進し、早期完了させることが求められています。区画整理事業の進展により、これまでの賑わいを引き継ぎ、将来にわたって地域全体の活性化につなげていくことが期待されています。



区画整理事業が進む登戸駅前
平成29（2017）年7月



計画推進の主な視点

- 豊かな地域資源を活用しながら、多摩区の魅力を効果的に発信し、地域への愛着や誇りを高め、多くの方が訪れるような取組を進めることで、地域の活性化につなげる必要があります。
- 大学と地域の交流を一層促進し、互いが身近に感じられる土壌を醸成するとともに、学生が愛着をもって地域参加できる取組を進めていくことで、学生と地域が連携した活力ある地域づくりにつなげる必要があります。



計画期間の主な取組

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

主な取組の方向性

生田緑地をはじめとする豊かな地域資源を活用しながら、多様な主体と協働し、まちへの愛着や満足度の向上を図り、訪れる人も住む人も楽しむことのできるまちづくりを推進するとともに、登戸土地区画整理事業の進展による賑わいと魅力あるまちづくりに取り組みます。

事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
観光振興・タウンプロモーション推進事業 自然や文化施設といった豊富な地域資源を活用し、多様な主体との協働により、区の魅力を内外に積極的に発信し、タウンイメージの向上と地域の活性化につながる取組を進め、住みよい、賑わいと魅力あるまちづくりを推進します。	●多様な地域主体と協働・連携した地域資源の魅力発信 ○観光ガイドブック、ガイドマップ等の作成 ・年1回更新・発行 → 年1回更新・発行 → 年1回更新・発行 → 年1回更新・発行 → 年1回更新・発行 → 事業推進					
	○広報物を活用した地域イベント等でのプロモーション活動 ・PRの実施 → 継続実施 →					
	○ホームページの充実、情報発信 ・随時情報更新 → 随時情報更新、アプリの改修 → 随時情報更新 →					
	○区民によるガイドツアーの実施 H28開催回数：7回 → 開催回数：7回 → 開催回数：7回 → 開催回数：7回 → 開催回数：7回 →					
	○関係各施設等との横断的取組による魅力発信 ・PR動画の作成(H29) → 動画の活用によるPRの推進 → 動画を活用したPRの見直しの実施 →					
	・関係各施設等との横断的取組による魅力発信 ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れたPR動画利活用の検討 → 魅力発信に向けた関係各施設等との検討 → 検討に基づいた事業等の実施 →					
	●「ピクニックタウン多摩区」をキーワードとしたまちの賑わいとタウンイメージの向上を図る取組の推進 ○ピクニックを楽しむことをテーマとした地域活性化イベント等の開催 ・生田緑地西口広場でのピクニックマルシェの開催(H29) → 地域資源を活用したイベント等の実施 →					
	○SNSを活用した生田緑地、多摩川等で実施されるイベント情報の発信 ・情報の発信 → 継続実施 →					
	●地域観光の活性化に向けた支援 ・地域行事・イベントの広報支援 → 継続実施 →					
	●地域が主体となった都市間交流の実施 ・観光協会を通じた交流都市との交流 → 継続実施 →					
音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業 区民が身近に音楽芸術に触れる機会や地域の音楽家が演奏を披露する場を提供し、音楽を通して、まちの賑わいや地域交流の活性化を推進します。	●区民との協働による「たま音楽祭」の開催 ・1回開催 → 開催回数：1回 → 開催回数：1回 → 開催回数：1回 → 開催回数：1回 → 事業推進					
	●多摩区役所総合庁舎での「たまアトリウムコンサート」の開催 H29開催回数：3回 → 開催回数：4回 → 開催回数：4回 → 開催回数：4回 →					
	●生田緑地の自然環境や文化施設を活用したコンサートの開催 ・各種コンサートの開催 → 生田緑地ばら苑60周年コンサート → 地域資源を活用した音楽イベントの開催 →					

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画
進行管理・評価



総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
多摩区スポーツフェスタ事業 誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供し、地域住民の交流、地域の活性化を進めます。	●子どもからシニアまで気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する「多摩区スポーツフェスタ」の開催 H28参加者数: 2,567人 開催回数: 1回	開催回数: 1回	開催回数: 1回	開催回数: 1回	開催回数: 1回	事業推進
	●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高める取組の実施 ○障害者スポーツの理解促進に向けた体験教室の実施 H28実施数: 1種目 実施数: 1種目	実施数: 1種目	・東京2020オリンピック・パラリンピックにあわせた体験教室の実施	実施数: 1種目	・体験教室の検証・見直しの実施	事業推進
	○スポーツをより身近に感じられるトップアスリートによる体験教室の実施 H28実施数: 1種目 実施数: 1種目	実施数: 1種目	実施数: 1種目	実施数: 1種目	・体験教室の検証・見直しの実施	事業推進
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業 区画整理事業推進により変貌するまちの賑わいを引き継ぎ、さらに発展させることで、魅力あるまちづくりに取り組みます。	●登戸土地区画整理事業の進捗を踏まえた賑わいと魅力を創出する取組の推進 ○地域の多様な主体の連携促進に向けた支援 ・事業手法の検討 ・連携に向けた支援手法の検討・実施	・連携促進に向けた支援	・連携促進に向けた支援	・連携促進に向けた支援	・連携促進に向けた支援	事業推進
	○市と小田急電鉄とのまちづくり地域包括協定に基づく連携方法等の検討 ・協定締結(H28) ・連携に向けた協議、連携の検討実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	事業推進
	●変貌するまちの風景を継承する取組の実施 ○街なみ、風景等の写真資料の収集とアーカイブの運用 ・アーカイブの運用	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	事業推進
	○ホームページによる情報発信 ・情報の発信	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	事業推進

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

主な取組の方向性

地域特性に応じた実践的な訓練や隣接自治体との連携強化などにより、地域防災力の向上を図るとともに、関係機関との地域連携による犯罪発生への抑止、交通ルールやマナー定着による交通事故の防止など、区民の安全を守る取組を推進します。

事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
市民防災活動支援事業 地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織や避難所運営会議への支援を行うとともに、区民の防災意識の醸成を進めることで地域の防災力の向上を図ります。	●自主防災組織、避難所運営会議が主催する各種訓練への支援 ・訓練の支援	・地域団体に対する各種訓練への支援				事業推進
	●地域人材の防災力向上に向けた支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 H29実施回数: 1回 実施回数: 1回	実施回数: 1回	実施回数: 1回	実施回数: 1回	実施回数: 1回	事業推進
	○小中高生など幅広い世代を対象とした防災教室の実施 H29実施回数: 3回 実施回数: 3回	実施回数: 3回	実施回数: 3回	実施回数: 3回	実施回数: 3回	事業推進
	●災害を「自分事」と捉える防災意識の醸成 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 H29開催回数: 1回 開催回数: 1回	開催回数: 1回	開催回数: 1回	開催回数: 1回	開催回数: 1回	事業推進
	○防災意識の高揚等を目的とした防災出前講座の実施 H29実施回数: 7回 継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	事業推進
	○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 H29実施回数: 2回 実施回数: 2回	実施回数: 2回	実施回数: 2回	実施回数: 2回	実施回数: 2回	事業推進
	●区民や関係機関との連携による地域特性に応じた「多摩区総合防災訓練」の実施 H29実施回数: 2回 (生田中・中野島小)	実施回数: 2回	実施回数: 2回	実施回数: 2回	実施回数: 2回	事業推進
		※関連する事務事業: 施策1-1-1「地域防災推進事業」				

事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
多摩区危機管理事業 多摩区防災連絡会議を通じて関係機関との連携を強化するとともに、隣接自治体と連携した訓練等の実施により、区全体の総合的な危機管理機能の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区役所防災力向上方針に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○多摩区役所防災力向上ハンドブックを活用した職員向け研修・訓練の実施 ・方針の策定(H28) ・研修の実施(H29) ●洪水・土砂災害対策・雪害対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○区本部の機能維持に向けた備品類の整備、研修等の実施 ・備品の整備、研修等の実施 ●区防災対策の充実・強化を目的とした、関係機関による多摩区防災連絡会議・部会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○H29開催回数:3回 ●災害発生時に備えた隣接自治体と連携した訓練等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○狛江市と水防訓練の実施(H29) 		<ul style="list-style-type: none"> ・研修・訓練の実施 ・研修内容等の検証・見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・訓練の実施 ・研修内容等の検証・見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品類の整備、研修等の実施 ・備品類の整備、研修等の実施 	事業推進
多摩区安全・安心まちづくり推進事業 地域、警察、消防と連携し、防犯や交通事故抑止等に取り組み、安全で安心して生活できるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心な地域づくりに向けた啓発と支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○防犯と交通安全をテーマにした「いきいき安全・安心セミナー」の実施 H29実施回数:1回 ○地域防犯団体が実施する防犯パトロールへの支援の実施 ・パトロール用品の貸与 ●交通安全意識の定着に向けた啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚・保育園、小学校を中心とした交通安全教室の実施 H28実施回数:97回 ○区内危険箇所への啓発看板等の設置 H28設置数:20件 		<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市、稲城市と連携した訓練等の検討・実施 ・訓練等の検証・見直しの実施 ・災害発生時に備えた効果的な連携に向けた協議・実施 継続実施 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等の検証・見直しの実施 ・訓練等の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進 継続実施 継続実施 	事業推進
自転車利用マナーアップ促進事業 スクアードストリート方式の交通安全教室の開催等により、自転車走行ルールや正しい交通マナーの定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●区内中学校、高等学校を中心とした、スクアードストリート方式の交通安全教室の開催 H28開催回数:3回 		<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:3回 ・開催回数:3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:3回 ・開催回数:3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数:3回 ・開催回数:3回 	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生から募集した交通安全標語を活用した啓発の実施 ○区内全小学校(3年生)を対象に標語の募集・表彰の実施、標語を活用した啓発の実施 ・標語の募集、啓発等の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 			事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価



多摩区総合防災訓練(生田中学校)



スクアードストリート方式による交通安全教室



たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

主な取組の方向性

多様な主体が連携しながら子ども・子育てに関する課題やニーズを把握し、地域が一体となって子ども・子育て支援を推進するとともに、一人ひとりに寄り添いながら、子育ての悩みや不安を解消できる体制を強化していきます。

総論
10年戦略
基本政策1
基本政策2
基本政策3
基本政策4
基本政策5
区計画
進行管理・評価

事業名	事業内容・目標					
	現状 平成28~29 (2016~17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
多摩区子ども総合支援推進事業 子ども・子育て支援団体や関係機関と連携し、地域全体で子ども・子育て支援の取組を推進するとともに、子ども・子育てを支援する担い手となる人材を育成し、子ども・子育てを見守る環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域が一体となった関係機関の連携による子育て環境づくりの推進 ○多摩区子ども総合支援連携会議での課題解決に向けた情報共有と取組の実施 ・連携会議の開催 開催回数:2回 ○地域会議「たまっ子育て会議」(5地区)におけるワークショップ等による情報交換 H29開催回数:5回 ・多摩区子ども支援基本方針の改定 ・基本方針に基づく取組の実施 ・アンケートの実施(H29) ●子育てについて理解を深めるための情報提供や人材育成の推進 ○子ども・子育て支援への理解を深めるための講演会、学習会の開催 H29開催回数:3回 ○子育て支援者の育成を目的とした「子育て支援者養成講座」、「親子ひろば」の実施 H29ひろば開催回数:10回 ●住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進 H29実施回数:3回 ●多摩区子育て支援パスポート事業の実施 ○地元商店街での子育て世代への見守りやコミュニケーション活性化の推進 ・パスポートの発行・パンフレットの作成 	開催回数:2回 開催回数:5回 開催回数:3回 実施回数:3回 継続実施	開催回数:2回 開催回数:5回 開催回数:10回 実施回数:3回 継続実施	開催回数:2回 開催回数:5回 開催回数:10回 実施回数:3回 継続実施	開催回数:2回 開催回数:5回 開催回数:10回 実施回数:3回 継続実施	事業推進 → → → → → → → → → →
多摩区子ども・子育て情報収集・発信事業 親の育児不安の軽減や地域子育て支援体制へつなげることを目的に、子育て家庭のニーズに応じた多様な情報提供を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て家庭のニーズに応じた情報発信 ○地域の子ども・子育て情報をまとめた多摩区地域子育て情報ブックの作成 ・冊子の作成 ○子ども相談窓口案内、地域子育て支援センター紹介リーフレットの作成 ・リーフレットの作成 ○子育て支援団体と連携した、ホームページ等の活用による情報発信 ・情報発信 	・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・情報発信	・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・ホームページ等の検証・更新	・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・情報発信	・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・年1回更新・発行 ・情報発信	事業推進 → → → →
地域子育て力向上事業 子育て中の親子が気軽に集まり交流する中で、子どもとのかかわり方を体験しながら育児の力をつけていく環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代の交流促進と育児力向上に向けた取組の推進 ○育児不安軽減を目的とした「地域子育てサロン」の開催 H29開催地区:4地区 ●保育士・ボランティアの配置による各種健診・相談サポート体制の充実 ○1歳6か月児・3歳児健診等での保育士・ボランティアの配置 ・各健診での配置 	開催地区:4地区 継続実施	開催地区:4地区 継続実施	開催地区:4地区 継続実施	開催地区:4地区 継続実施	事業推進 → →
幼児の発達支援事業 専門職によるグループ支援などを行い、発達に不安がある幼児を支援し、保護者の育児負担感の軽減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●1歳6か月児・3歳児健診等でのフォロー教室の開催 H29開催回数:24回 ●保健師、保育士など専門職による個別相談の実施 ・個別相談の実施 	開催回数:24回 継続実施	開催回数:24回 継続実施	開催回数:24回 継続実施	開催回数:24回 継続実施	事業推進 → →

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

主な取組の方向性
 「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、多様な主体の連携を促進して多世代で支え合う地域づくりを進め、区民同士の支え合いによる地域での見守りや交流の活性化を支援するとともに、区民主体の健康づくり・介護予防を進め、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組みます。

事業名	現状	事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
多摩区地域包括ケアシステム推進事業 地域特性に応じた多世代で支え合う地域づくりの推進を目的に、多様な主体と協働・連携した取組や、認知症サポーター養成など人材育成に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域特性に応じた多世代で支え合う地域づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民同士で地域の課題を共有し、主体的に解決していくための地域づくりの支援 ・モデル事業実施 (H28) ・区内全5地区での地域づくり実施 (H29) ●「自助・互助」の意識醸成と地域の人材育成に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ○「自助・互助」の意識醸成に向けた啓発物を活用した広報等の実施 ・リーフレットを活用した啓発の実施 ・出前講座の実施 ○小学生に対する認知症サポーター養成講座及び中学生に対する認知症講演会の開催 H29開催回数: 小学生14回 (H29) 中学生4回 (H29) ●「チーム・たま」と連携した在宅療養の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者等によるワークショップ開催など 適切な支援 ・連携に向けた事業の検証・見直し実施 ・地域づくりに向けた取組の推進 				事業推進
健康づくり推進事業 「多摩区健康フェスタ」の開催や地域の健康づくり活動の支援を通じて幅広い世代の交流を促進し、健康づくりに関する普及啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区健康フェスタの実施 <ul style="list-style-type: none"> ○地域の健康づくり介護予防関連団体等との連携による、健康について楽しく考える体験型イベントの実施 ・1回開催 ●健康づくり・介護予防活動の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ○区民が主体となった地域の健康づくり活動等の運営支援 ・地域活動への支援 ●セルフケアによる健康意識向上のための啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりの推進等を目的とした効果的なリーフレット等の作成・配布 ・情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数: 1回 継続実施 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数: 1回 開催回数: 21回 開催回数: 21回 開催回数: 21回 			事業推進
バサーージュ・たま開催事業 多摩区総合庁舎アトリウムで、障害者団体や作業所等の活動紹介、展示販売等を行い、障害のある方など社会的マイノリティへの理解を深め「心のバリアフリー」を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●障害のある方など社会的マイノリティへの理解を深めることによる「心のバリアフリー」の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○区内の障害者団体、生活・就労支援を行っている障害者施設等の活動紹介や作品展示などを行う「バサーージュ・たま」の定期的な開催 ・啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数: 11回 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数: 11回 開催回数: 11回 開催回数: 11回 			事業推進



区総合庁舎 1階アトリウムで開催される「バサーージュ・たま」

総論
 10年戦略
 基本政策1
 基本政策2
 政策体系別計画
 基本政策3
 基本政策4
 基本政策5
 区計画
 進行管理・評価



市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

主な取組の方向性

地域で活躍する新たな人材の育成・発掘を行いながら、区民が主体となった地域の課題解決に向けた取組を支援するとともに、区内3大学と地域との連携を促進し、大学の持つ価値や魅力を活かした活力ある地域社会づくりにつなげていきます。

事業名	事業内容・目標					
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
多摩区地域人材育成事業 市民活動の活性化に向けた新たな担い手の発掘、育成や、市民の自治力を発揮して地域課題解決を図る取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区地域人材育成基本方針に基づく取組の推進 ・方針見直し(H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな基本方針に基づく取組の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材育成に向けた取組の推進 			事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動の新たな担い手の発掘・育成に向けた事業の実施 ・研修(入門・活動):各1回 ・活動体験:5か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな基本方針に基づく取組の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の発掘・育成に向けた取組の推進 			
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域人材の活用に向けた取組の推進 ・登録制度に基づく取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な手法の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークづくりに向けた取組の推進 			
多摩区・3大学連携事業 大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域のさまざまな課題の解決に向けて、大学の知的資源を活用した取組を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●大学と地域の連携を促進する「たまなびプログラム」による地域づくりの推進 ・大学の知的資源の活用による地域課題解決に向けた取組の実施 ・大学生の地域参加・大学と地域の交流促進に向けた新たなプログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・大学生の地域参加に向けた新たなプログラムの実施 ・地域に向けた大学情報の発信 ・大学が実施する市民向け公開講座などによる大学と地域の交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検証・見直しの実施 ・事業内容の検証・見直しの実施 ・事業内容の検証・見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた、大学生の地域参加に向けた取組の実施 ・検証を踏まえた、大学情報の発信 ・検証を踏まえた、大学と地域の交流促進 		事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●区内3大学の学生を中心とした「多摩区3大学コンサート」の開催 ・1回開催 入場:550人 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●大学と連携した生田緑地エントランススポットの維持管理 ・施設の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 				
区民との協働によるまちづくり活動実践事業 区内のさまざまなまちづくり活動に対する支援や、まちづくりに関する課題の提起と解決に向けた取組をまちづくり協議会等と協働して行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体の支援につながる中間支援的活動の実施 ・情報交換や交流、学びの場等の提供 ●区民が主体となった地域課題の抽出及び解決に向けたプロジェクト活動の実施 ・各プロジェクト活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・継続実施 				事業推進



地域人材の発掘・育成に向けた取組（活動体験）

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行政管理・評価

事業名	現状	事業内容・目標					
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
地域コミュニティの活性化促進事業 町内会・自治会の抱える課題の解決を支援し、町内会・自治会活動、さらには地域コミュニティの活性化を図ります。	●町内会・自治会への加入に向けた啓発活動など支援の実施 ・新規転入者への区役所窓口での啓発活動や若者・現役世代の地域活動への参加の呼びかけ ・啓発の実施、情報の発信 ・町内会紹介リーフレットの発行（各年度4町内会）	継続実施	発行：4町内会	発行：4町内会	発行：4町内会	発行：4町内会	事業推進
	●地域住民を対象とした地域活性化に向けた講演会等の開催 ・講演会等の開催	継続実施					
磨けば光る多摩事業 地域課題の解決や安全で安心・うれしい暮らしの実現に向け、市民活動団体から事業提案を募集し、協働による取組を推進します。	●地域課題の解決に向けた市民提案事業の募集 ・各年度1月～2月	・ホームページ等による事業募集の実施					事業推進
	●公開プレゼンテーションの実施 ・各年度4月に実施	・提案事業者による公開プレゼンテーションの実施					
	●事業の選定、実施及び事業報告会の開催 H29事業数：3事業 ・報告会の開催(3月)	・地域課題解決に向けた事業の選定・実施 ・一般区民を対象の事後報告会の開催					



地域活性化に向けた講演会



磨けば光る多摩事業の公開プレゼンテーション

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価



地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標					事業内容・目標	
			現状 平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度		平成34 (2022) 年度以降
多摩区									
地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進									
	多摩区エコロジーライフ事業	区民が家庭で取り組める地球温暖化対策を、区民との協働により推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●庁舎壁面の緑化、ゴーヤの種子の配布など「緑のカーテン大作戦」の実施 ●子どもたちの環境学習を目的とした「夏休み！多摩区エコフェスタ」の開催 ●市民団体と協働した使用済みてんぷら油の回収などによる3Rの普及啓発の実施 						事業推進
	水辺の愛護活動事業	町内会・自治会等による二ヶ領用水の清掃・愛護活動を支援し、緑豊かな水辺空間づくりと、区民の環境愛護活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民による二ヶ領用水の清掃・愛護活動に対する支援・協力 						事業推進
	自然体験のついで実施事業	区の地域資源である生田緑地の豊かな自然の中で体験プログラムを実施し、自然の大切さや郷土への愛着を感じられる機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●各種自然体験プログラムの企画・実施 						事業推進
	多摩川環境啓発展示事業	多摩川に生息する淡水魚等を多摩区総合庁舎アトリウムで飼育展示し、多摩川への愛着を深め、環境意識の啓発を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●季節に応じた魚類の展示及びパネルの掲出 ●水槽の維持管理 						事業推進
	多摩まちかど祭開催事業	区民祭の会場でステージショーを開催し、区民が日頃の文化芸術活動の成果を発信できる機会を提供するとともに、区民相互の交流と地域の活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民祭会場におけるステージショーの企画・実施 						事業推進
	区民祭開催経費	区民一人ひとりが担い手となることで、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを推進することを目的に区民祭を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の地域団体等と連携した多摩区民祭の企画・運営 						事業推進
災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進									
	多摩区動物愛護推進事業	学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、動物の飼養上発生するさまざまな問題解決へと繋げることで、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●区内小学校低学年向けに、体験で生命の大切さを伝える「いのちの授業」の実施 ●「どうぶつ愛護フェアinたま区」、「動物愛護パネル展」の開催 ●動物愛護・適正飼養のための講習会の開催 						事業推進
たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進									
	多摩区幼・保・小連携事業	幼稚園・保育所・小学校が連携を図り、一人ひとりの子どもの育ちや成長を一体的に支援し、小学校へのスムーズな入学を促します。	<ul style="list-style-type: none"> ●連絡会等を通じた職員の相互理解、連携・交流の推進 ●園児・児童の相互交流活動の推進 						事業推進
	子ども・子育て支援推進事業	地域の子育て支援や公民保育所の交流・連携・人材育成などに取り組み、保育の質の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●在宅子育て家庭を対象とした子ども・子育て支援事業の実施 ●連携・交流活動を通じた民間保育所等への支援 ●公民保育所等職員の人材育成 						事業推進
	たまたま子育てまつり開催事業	子育て支援団体等との協働により、親子で学び・遊べる場の提供や子育て相談、情報提供などを行う子育てまつりを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ●たまたま子育てまつりの開催 						事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進化管理・評価

政策体系別計画

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標					
			現状 平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
多摩区								
すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進								
	精神保健普及啓発事業	精神保健福祉の課題に取り組む場として、「精神保健福祉連絡会議」を設置し、メンタルヘルスの普及啓発に向けた講演会等を実施します。	●メンタルヘルスに関する講演会の開催 ●チラシ等を使った広報及び普及啓発の実施					事業推進
市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進								
	多摩区区民意識アンケート実施事業	地域の課題解決や魅力を活かした取組を効果的に推進していくため、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査し、結果を分析します。	●多摩区区民意識アンケートの実施（隔年実施）					事業推進
	市民活動支援事業	「多摩区民活動・交流センター」を区民との協働により運営し、市民活動団体等の自主的な活動の発展、交流、相互支援を促進します。	●登録団体で構成される運営委員会との協働による運営 ●全体会などを通じた登録団体の情報交換の実施					事業推進
	公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業	公園の活用促進や公園情報の発信などを通じて、公園が更なる地域コミュニティの場となるよう取組を実施します。	●公園の活用促進や公園情報の発信に向けた取組の検討・実施					事業推進
区役所サービス向上事業								
	窓口サービス改善推進事業	わかりやすい案内表示等や窓口対応を実行し、区役所利用者の利便性と満足度の向上を図ります。	●来庁者アンケート・外部評価実施結果に基づく改善策の検討・実施 ●窓口対応時のスキルアップのための職員研修の実施 ●ワーキンググループによる課題解決策の検討・実施					事業推進
地域課題対応その他事業								
	共通事務経費	地域課題対応事業で共通で必要となる物品を一括購入し、事務の効率化を図ります。	●一般事務用品、備品類の調達					事業推進
区の新たな課題即応事業								
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施					事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画



“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

●「ピクニックタウン多摩区」を通じた魅力発信

多摩区では、“ピクニック”をキーワードに、区内の豊かな自然環境や魅力的な地域資源をPRするとともに、さまざまな人や団体などをつなぎ、その楽しみ方や過ごし方を提案することで、多摩区の“ファン”を増やし、「訪ねてみたい、住んでみたい、住み続けたい！」と思える賑わいと魅力あふれるまちづくりを、地域と連携しながら進めています。



さあ、ピクニックに出かけよう！～オリジナルレシピコンテスト～

- 市民の方々が考案した53点のレシピの中から、専門家等による選考とフェイスブックを通じた幅広い投票により、最優秀作品が決定されました。一部レシピは、かわさき宙（そら）と緑の科学館のカフェや区内のパン屋の協力により商品化され、期間限定で販売されました。



最優秀作品の「選んで食べよう！ディップサンド」

いつもとちょっと違う一日を ～ピクニックマルシェ～

- 生田緑地西口広場のPRなどを兼ねて、区内を中心とした飲食店と協力してマルシェを開催しました。当日は、市民団体が主催するワークショップが開催されたほか、岡本太郎美術館による紙製の「TAROトンボ」を制作するワークショップ、日本民家園にある古民家のゆかりの物品の販売が行われるなど、いつもとはちょっと違うピクニックを楽しめる一日となりました。



多くの家族連れで賑わう生田緑地西口広場

市民自ら魅力を発信！ ～多摩区観光ボランティアガイド～

- 区の魅力をより知ってもらうため、市民による観光ボランティアガイドが活躍しています。バスツアーやウォーキングツアーを主体的に企画し、多摩川や生田緑地などの豊かな自然環境や、日本民家園などの魅力的な施設のほか、あまり知られていない見どころを地元ならではの目線で案内しており、区の新たな魅力の発信に一役買っています。



生田緑地ばら苑の魅力をガイド

★市民の想い、メッセージ

- 今まで生田緑地の奥まで行くことがなく、初めて行くことができ良い機会になりました。
- ピクニックマルシェが楽しく、次の週の区民祭にも行くなどお祭りに、はまってしまいました。
- 参加をすることで、地域のイベントに興味を持つようになり、友達にも発信するようになりました。
- 久しぶりに生田緑地に行くことができ、改めていいなと思った。子どもも楽しんでいました。

イベント参加者の声

●多世代で共に支え合う地域に向けて

多摩区では、誰もがいつまでも安心して暮らしていける地域を目指して、住民自らが地域課題を解決しながら「多世代で共に支え合う地域づくり」を進めています。町内会・自治会をはじめとしたさまざまな地域団体が主体となり、地域特性に応じた取組が行われています。

住民主体の地域づくり ～地域課題の把握・解決に向けて～

- 住民同士のつながりを強め、互いに助け合うことができる地域の実現をめざす「中野島多世代つながり愛プロジェクト」や、町内会・自治会が中心となって地域づくりのアイデアを話し合う「生田ご近所パワーアップ会議」など、さまざまな取組の中で、多世代が集うことができるイベントや場づくりが行われ、共に支え合う地域づくりに向けた機運が生まれています。



生田ご近所パワーアップ会議

地域交流の場づくり ～認知症カフェ・地域カフェの広がり～

- 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合うための「認知症カフェ」や、住民が気軽に集える「地域カフェ」などが区内各地に生まれています。カフェごとに目的や運営方法はさまざまですが、地域の居場所として多様性に富んだ交流が広がり始めています。



中野島ほっこりカフェ

たまっ子を育てる環境づくり ～自然の中で多世代交流～

- 多摩区では、子どもの想像力を培う「子どもの外遊び」を推進しています。多摩川や生田緑地、身近な公園などをフィールドに地域活動団体がさまざまな形で取組を進めており、こうした外遊び交流事業を通じて、地域の高齢者や子どもたちが触れ合い、多世代の交流が生まれています。



二ヶ領用水で行われた「魚つかみ」

★市民の想い、メッセージ

- 高齢者や障害がある方など、みんなが住み良いと言ってくれることが一番嬉しい。
- 外に出れば誰か知っている人がいる。そういう地域を作っていきたい。

町内会・自治会長の声

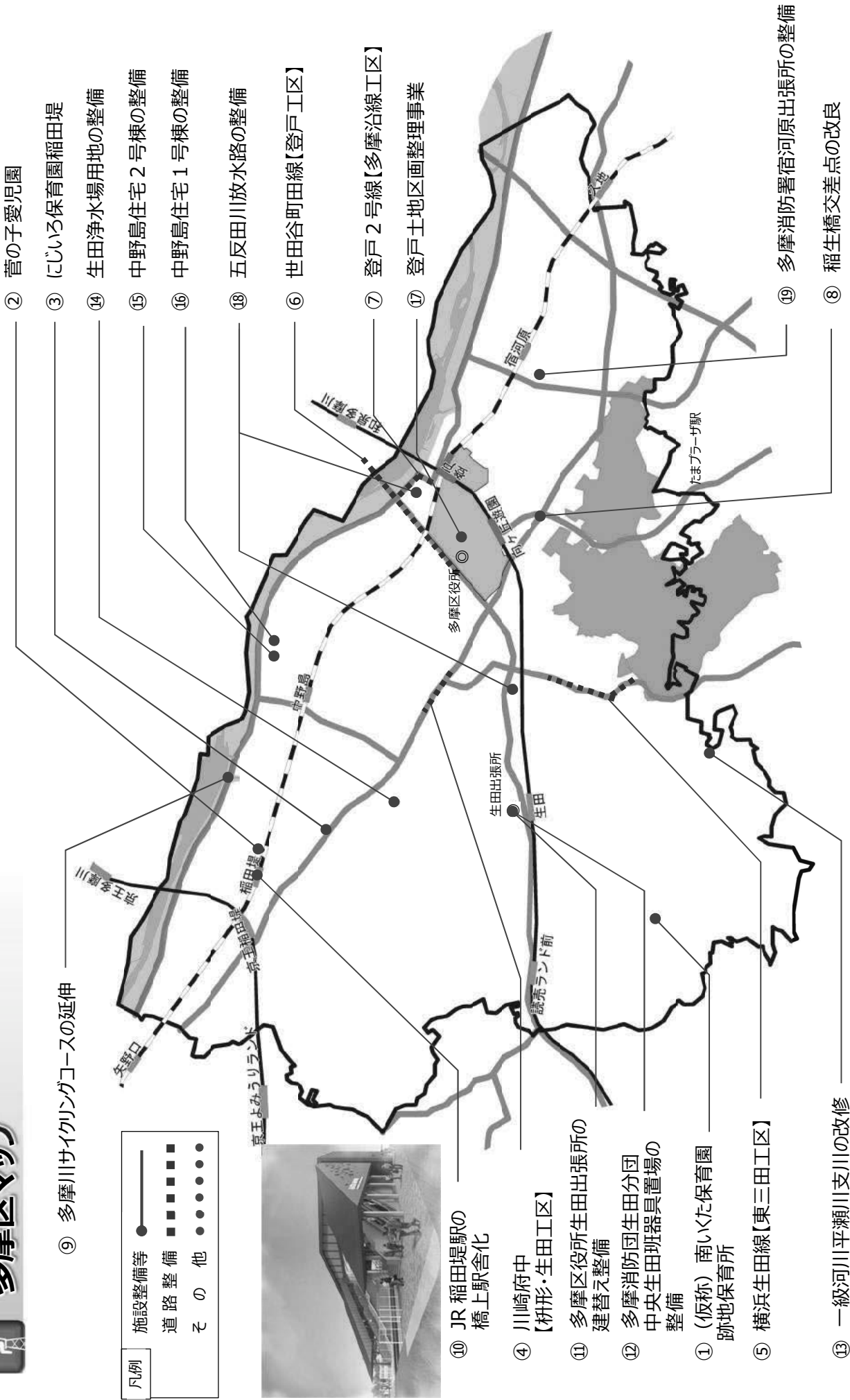
- 一人ひとりのもっている力は限られています。それぞれができることを少しずつ出し合って、なるべく多くの人に関わり合いながら、これからもみんなで活動していきたいです。

認知症カフェ関係者の声

- 子ども達の元気な笑顔や子どもとの触れ合いによって、大人たちも楽しませてもらっています。

外遊び交流委員の声

多摩区マップ



区のマップとの対応表

福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
(仮称) 南いくた保育園跡地保育所	H30(2018)	90 人	①
菅の子愛児園	H30(2018)	70 人	②
にじいろ保育園稲田堤	H30(2018)	60 人	③

道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
川崎府中 【枳形・生田工区】	道路拡幅	事業推進	④
横浜生田線 【東三田工区】	道路拡幅	事業推進	⑤
世田谷町田線 【登戸工区】	橋りょう整備	H33(2021) 完成	⑥
登戸 2 号線 【多摩沿線工区】	道路拡幅	H33(2021) 完成	⑦
稲生橋交差点の改良	交差点改良などの渋滞 対策	H30(2018) 完了	⑧

その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
多摩川サイクリングコースの 延伸	多摩川サイクリングコースの連続 性を確保するための延伸整備	事業推進	⑨
JR 稲田堤駅の 橋上駅舎化	駅へのアクセス向上を図るための 橋上駅舎化整備	H35(2023) 供用開始	⑩
多摩区役所生田出張所の 建替え整備	老朽化が著しい出張所の建替え 整備	H33(2021) 供用開始	⑪
多摩消防団生田分団 中央生田班器具置場の 整備	消防団器具置場の整備 (生田出張所との合築)	H33(2021) 完成	⑫
一級河川平瀬川支川の 改修	治水安全度向上のための河川の 改修	事業推進	⑬
生田浄水場用地の整備	地域の住民等が利用できる ふれあい広場、多目的広場、 スポーツ広場の整備	事業推進	⑭
中野島住宅 2 号棟の整備	市営住宅の建替工事	H31(2019) 入居開始	⑮
中野島住宅 1 号棟の整備	市営住宅の建替工事	H33(2021) 入居開始	⑯
登戸土地区画整理事業	魅力と活力にあふれた市北部の 拠点地区の形成を推進するため の土地区画整理	事業推進	⑰
五反田川放水路の整備	五反田川の洪水全量を 地下トンネルで直接、多摩川へ 放流する施設の築造工事	H31(2019) 暫定供用開始 H35(2023) 完成	⑱
多摩消防署宿河原出張所 の整備	消防出張所の改築工事	H31(2019) 完成	⑲

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画に掲載している主な事業や取組）
地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進	
	○ 観光振興・タウンプロモーション推進事業
	○ 音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業
	○ 多摩区スポーツフェスタ事業
	○ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業
	多摩区エコロジーライフ事業
	水辺の愛護活動事業
	自然体験のつどい実施事業
	多摩川環境啓発展示事業
	多摩まちかど祭開催事業
	区民祭開催経費
災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進	
	○ 市民防災活動支援事業
	○ 多摩区危機管理事業
	○ 多摩区安全・安心まちづくり推進事業
	○ 自転車利用マナーアップ促進事業
	多摩区動物愛護推進事業
たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進	
	○ 多摩区こども総合支援推進事業
	○ 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業
	○ 地域子育て力向上事業
	○ 幼児の発達支援事業
	多摩区幼・保・小連携事業
	子ども・子育て支援推進事業
	たまたま子育てまつり開催事業
すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進	
	○ 多摩区地域包括ケアシステム推進事業
	○ 健康づくり推進事業
	○ パサージュ・たま開催事業
	精神保健普及啓発事業
市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進	
	○ 多摩区地域人材育成事業
	○ 多摩区・3大学連携事業
	○ 区民との協働によるまちづくり活動実践事業
	○ 地域コミュニティの活性化促進事業
	○ 磨けば光る多摩事業
	多摩区区民意識アンケート実施事業
	市民活動支援事業
	公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業
区役所サービス向上事業	
	窓口サービス改善推進事業
地域課題対応その他事業	
	共通事務経費
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業

麻生区



■人口 177,360 人

■世帯数 76,103 世帯

■面積 23.11 km²

(平成 30 (2018) 年 1 月 1 日現在)

麻生区の木



「禅寺丸柿」

麻生区の花



「ヤマユリ」

総論

10年戦略

基本政策 1

基本政策 2

政策体系別計画

基本政策 3

基本政策 4

基本政策 5

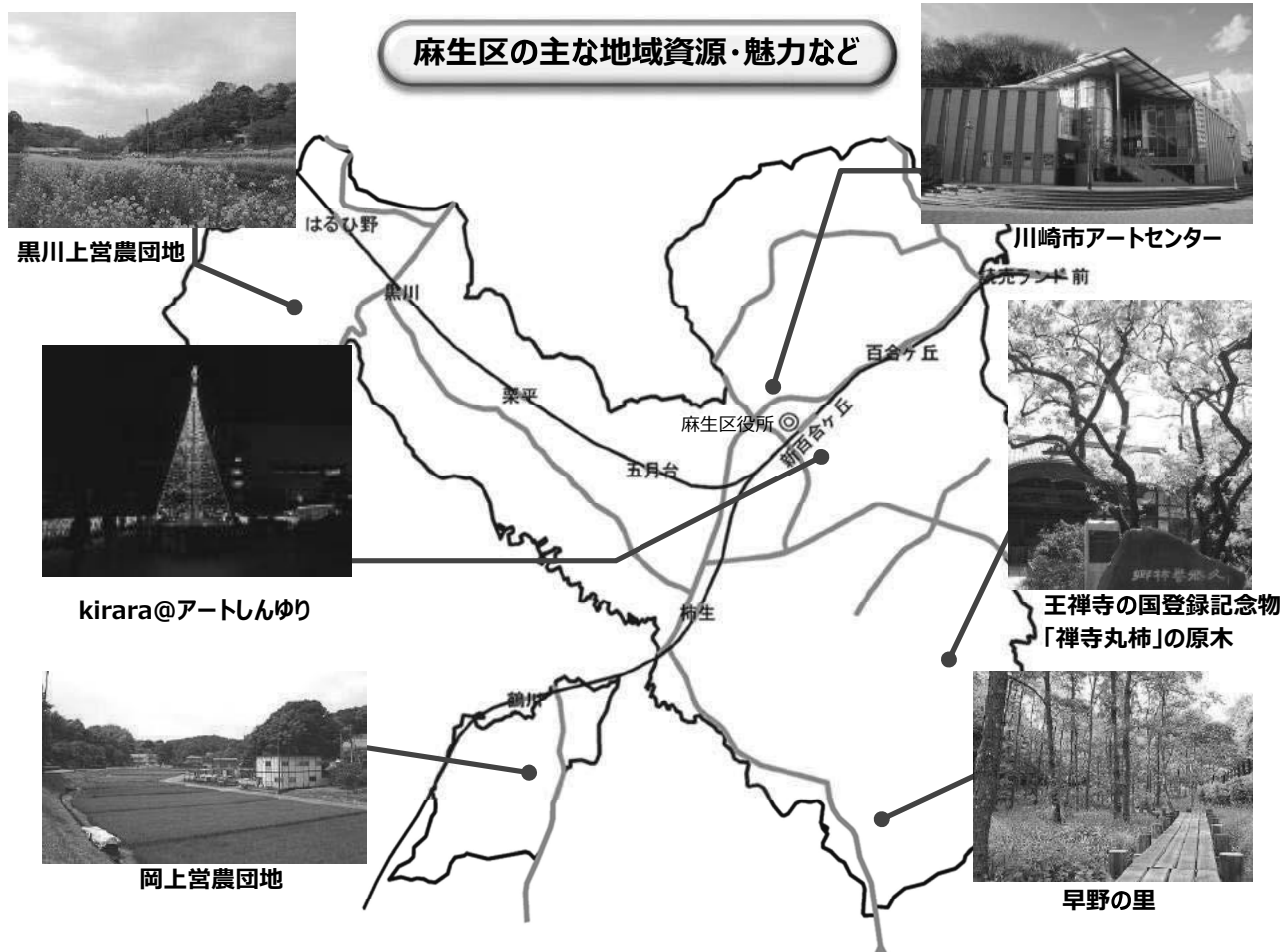
区計画

進行管理・評価



麻生区の概要

- 麻生区は昭和 57 (1982) 年に、多摩区から分区して誕生しました。「麻生」の名は、8 世紀頃、この地が朝廷への貢物だった麻布の原料である麻を産したことによると伝えられています。
- 昭和 2 (1927) 年に小田急線の柿生駅が開設され、その後、昭和 49 (1974) 年に新百合ヶ丘駅が誕生、さらに小田急多摩線が開通しました。新百合ヶ丘駅周辺地区には行政機関、大型商業施設、病院などの都市機能が集積し、市北部における広域拠点として機能強化が図られてきました。
- 平成 24 (2012) 年に区制 30 周年を迎え、区の花「ヤマユリ」、区の木「禅寺丸柿」を制定しました。また、10 月 21 日を「禅寺丸柿の日」と制定し、禅寺丸柿キャラクター「かきまるくん」による普及活動など、麻生区固有の魅力と価値を後世に伝承する活動が進められています。
- 麻生区は、里地・里山など緑のうらおいにあふれ、一人あたりの公園緑地面積は約 10 m²と、7 区で最も高くなっています。区内には、「黒川」・「岡上」・「早野」の農業振興地域、農産物直売所「セレサモス」があり、平成 24 (2012) 年には「明治大学黒川農場」が開場するなど、農業資源に恵まれています。
- 麻生区では、芸術・文化のまちづくりが進められ、大学や施設が集積し、年間を通じて、市民の手によるさまざまな芸術・文化のイベント等が開催されています。また、芸術・文化や子育て、農などさまざまな分野で、区内の 6 大学（昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、日本映画大学、明治大学、和光大学）や企業との連携も進んでいます。





まちづくりの方向性

豊かな自然と芸術が溶け合う活力のあるまち

- 麻生区は、新百合ヶ丘駅周辺をはじめ区内に芸術・文化が輝き、黒川・岡上・早野などに広がる豊かな自然や農のある風景、景観の整った美しい街なみが調和し、安全・安心で魅力にあふれ、心の安らぎが感じられるまちです。
- 区民が、まちに愛着と誇りを持ち、こうした貴重な地域の資源を大切に育むとともに、地域や大学などのさまざまな主体が手を取り合い、支え合うことで、未来に広がる、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。



第1期の主な取組状況

● 芸術・文化のまちづくりの推進

「麻生音楽祭」などのイベント開催や芸術・文化の情報発信に取り組むとともに、芸術・文化関連団体の情報交換や交流の場として「あさお芸術・文化交流カフェ」を開催することにより、事業者、教育機関、区民、行政等が連携し、芸術・文化を中心に地域活性化や地域ブランド化をめざす「芸術・文化のまち麻生」の取組を進めています。

● 農と環境を活かしたまちづくりの推進

麻生区内の農業・環境資源を活用した取組として、「黒川地域連携協議会」を通じ、地域、大学、区民、行政が協働し、農産物等の地産地消、里山の保全・活用など、地域資源を活用した事業を推進しています。

● 高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進

健康づくりや介護予防等のため、公園を拠点にした「健康体操」・「健康ウォーク」等の実施や講演会による普及啓発、地域団体の活動支援、「安心見守りネット」事業等に取り組んでおり、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築に向け互いに支え合う地域づくりを進めています。

● 安全・安心まちづくりの推進

自主防災組織等と連携した実践的な「区総合防災訓練」の実施や「避難所運営会議」の開催等により、避難所運営体制の充実を図るとともに、「小学校危険箇所案内マップ」を小学校低学年生へ配布するなど、自助・共助（互助）による地域防災力の向上及び防犯・交通安全等の取組を進めています。

● 総合的な子ども・子育て支援の推進

地域全体で子育て家庭のニーズに対応した支援を行うため、子ども関連機関や団体等の交流・連携を強化するとともに、「あさお子育てフェスタ」等を活用した子育て世帯の交流や情報発信、「麻生区・6大学公学協働ネットワーク」や民間企業等の地域資源を活用した子ども・子育て支援に取り組んでいます。

● コミュニティづくりの推進

市民主体で運営する「麻生市民交流館やまゆり」を通じて市民活動の推進を図るとともに、地域の課題について、地域の団体と協働して解決するため、より住みやすいまちづくりを行う市民提案型協働事業などの取組を進めています。

● スポーツのまち麻生の推進

「あさおスポーツフェスティバル」等の区内の各種スポーツ大会の支援を行うとともに、2つの総合型地域スポーツクラブ等と協働し、スポーツを通じた地域の活性化、豊かなコミュニティづくりを進めています。



現状と課題

●芸術・文化が輝き、豊かな自然に恵まれています。

- 麻生区内には、「昭和音楽大学」、「日本映画大学」、「アートセンター」など芸術・文化関連施設等が集まり、新百合ヶ丘駅周辺では「アルテリッカしんゆり」、「麻生音楽祭」など、さまざまな芸術・文化イベントが開催されてきました。このように豊かな芸術・文化資源を活かした地域活性化や地域ブランド化の取組を区全体に広げるため、団体間の交流も始まっており、今後も事業者、教育機関、区民、行政等が連携して「芸術・文化のまち麻生」の確立をめざした取組を進めます。



麻生音楽祭

- また、黒川・岡上・早野地区の農業振興地域をはじめ、市内の農地、山林の43%が区内に集積するなど、豊かな自然に恵まれており、平成28（2016）年度のかわさき市民アンケートでは、区民の82.3%が「公園や緑の豊かさ」について満足していると回答しています。こうした地域資源を活かして、地域の魅力やブランド力をさらに高める必要があります。

●人口減少・高齢化に対応するため、支え合いの地域づくりを進める必要があります。

- 麻生区の人口は、平成42（2030）年をピークに18.3万人まで増加を続け、その後減少に転ずることが予測されています。現在の区内の高齢化率は22.6%（平成29（2017）年11月現在）とすでに市内トップになっており、今後、更なる高齢化の進展による、ケアを必要とする高齢者の増加などに対応するため、地域



公園体操による健康づくり



地域包括ケアシステム講演会

における自助・互助の意識づくりを行い、町内会・自治会等による地域活動への支援や、大学など多様な主体との協働・連携による支え合いの地域づくりを進める必要があります。

●安全・安心なまちづくりを目指した区民の自主的な取組が進んでいます。

- 麻生区内の土砂災害警戒区域は306区域（平成29（2017）年11月現在）と7区で最も多く、また、市直下型地震による多大な被害が想定されることから、被害を最小限に食い止めるためには、自助・共助（互助）・公助の適切なバランスのもと、地域防災力の向上を図る必要があります。
- また、麻生区は、犯罪認知件数や交通事故発生件数、火災発生件数が7区の中でも少ない状況ですが、今後も高齢者や子どもを狙った犯罪への対策、交通安全啓発の一層の充実、駅周辺の交通混雑の改善などが求められています。



自主防災組織による訓練の様子



●少子化・核家族化など子育て環境の変化に伴い、子ども・子育て支援の充実が求められています。

- 少子化が進展する中、万福寺やはるひ野など、近年住宅開発が進み年少人口が多くなっている地区もあり、子ども・子育て支援については依然として高いニーズがあります。核家族化や地域のつながりの希薄化などを背景に、育児への不安や負担感を抱きやすい家庭も増えていることから、子育て支援情報の発信、気軽に子育ての相談や交流ができる場づくり、地域活動の支援など、子育て家庭を地域全体で支え、安心して子育てできる環境づくりが求められています。



親子と高齢者の交流イベント

●地域では知識や経験を持った区民によるさまざまな活動が行われています。

- 市民主体で運営する市民活動支援の拠点である「麻生市民交流館やまゆり」は開館 10 年を迎え、シニアなどが培ってきた知識や経験を活かした市民活動が行われています。
- 町内会・自治会は、地域住民をつなげ、福祉や防災など身近な暮らしの課題の解決に大きな役割を担っていますが、加入率の低下や担い手の高齢化、役員交代により継続した取組が困難になるなどといった課題への対応も必要となっています。
- また、総合型地域スポーツクラブの活動支援を通じ、かわさきパラムーブメントの取組を進めるなど、誰もがスポーツに参加できる環境を整備し、スポーツを通じた地域の活性化、豊かなコミュニティづくりを進める必要があります。



市民団体と子どもたちの交流



計画推進の主な視点

- 町内会・自治会、大学などの地域主体との協働・連携による地域活性化を行いながら、自助・互助の意識づくりを進め、セルフケア意識の醸成と地域の実情に応じた持続可能な支え合いの地域づくりを行い、麻生区らしい地域包括ケアシステムを構築する必要があります。
- 豊かな芸術・文化資源を活かしたまちづくりの取組を区全体に広げ、かわさきパラムーブメントの理念を取り入れながら、事業者、教育機関、区民、行政等が連携し「芸術・文化のまち麻生」の取組を進める必要があります。



計画期間の主な取組

芸術・文化のまちづくりの推進

主な取組の方向性

新百合ヶ丘駅周辺の芸術関係資源などを活かしながら、地域活性化や地域ブランド化をめざす「しんゆり・芸術のまち」の取組を引き続き推進するとともに、取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立をめざします。また、麻生区特有の伝統・伝承文化について、地域の文化団体や観光関係団体等と連携して継承を図るとともに、さまざまな媒体を通じてその魅力を広く発信します。

事務事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
しんゆり・芸術のまち推進事業 新百合ヶ丘駅周辺をはじめ区内に集積する芸術関連団体等と連携し、情報発信やイベント支援を行います。また、団体間の情報共有や連携を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術・文化等の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページやソーシャルネットワークサービス等による情報発信 ・ 情報発信の実施 ● 芸術・文化団体の情報交換・交流の場づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 区内で活動する芸術・文化団体が参加する「あさお芸術・文化交流カフェ」の開催 H29開催回数：2回 ・ 実施手法の検証 ● 新百合ヶ丘駅周辺の更なる魅力向上に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な情報発信手法の検討 ・ 検討を踏まえた区内外への情報発信 ・ 検証結果を踏まえた開催 ・ 小田急電鉄との包括協定等を踏まえた更なる魅力向上に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックにあわせたPRの実施 ・ 検証結果を踏まえた開催 			事業推進
麻生音楽祭開催事業 区を中心に音楽活動をする団体や学校が日頃の活動の成果を披露し、相互交流や芸術文化の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の音楽団体や学校との協働による麻生音楽祭の開催 ・ 「コーラスのつどい」、「スクールコンサート」等6部門の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽祭の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽祭開催方法の検証、見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽祭の開催 		事業推進
あさお芸術のまちコンサート事業 区内居住・区内を中心に活動する音楽家、音楽愛好家によるコンサートを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 世代、ジャンル、障害の有無を超えて音楽を楽しむあさお芸術のまちコンサートの企画・運営 H29「夏のハーモニー」、「ユニヴァーサルコンサート」等の開催回数：7回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサートの開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサート開催方法の検証、見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンサートの開催 	事業推進
あさお観光資源の魅力紹介事業 観光ガイドブックの改訂、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 区の観光資源の魅力発信 H28観光写真コンクール：1回 ・ 観光ガイドブックの改訂・発行（H29） ● 「禅寺丸柿の日」イベントの開催 ○ 麻生観光協会との協働による柿もぎ体験等のイベントの開催 H29開催回数：2回 ● 麻生観光協会等と連携した区の花「ヤマユリ」の広報活動の実施 ・ HP等を活用したPRの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光写真コンクールの開催 ・ 応募者数の拡大及び優秀作品の更なる活用への検討 ・ 観光ガイドブックの改訂・発行 ・ 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討結果を踏まえた広報の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光写真コンクールの開催 ・ 観光ガイドブックの改訂・発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光ガイドブックの改訂・発行 	事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価



農と環境を活かしたまちづくりの推進

主な取組の方向性

麻生区の貴重な農業資源や環境資源への理解を深め、地域で守り育てていくため、黒川地区では、「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」等を通じ、地域・大学・区民・行政の協働により、地域資源を活用した事業を推進します。また、市民活動団体等との協働により、区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動を啓発し、環境問題に取り組む「エコのまち麻生」を推進します。

事務事業名	事業内容・目標					
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
農と環境を活かした連携事業 区民や大学、学校、農業事業者等と連携し、区内農業資源や環境資源を活かし、地域活性化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●黒川地域連携協議会を通じた実施計画に基づく取組の推進 H28協議会開催回数：2回 ●岡上地区、早野地区の地域活性化の検討 ・関係局と連携した地域活性化の検討 ●農を通じた地域活性化の取組の推進 ○収穫体験イベント等による地域活性化に向けた取組の実施 H29収穫体験イベント：2回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：2回 ・黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり実施計画の更新 ・地域資源調査の実施 ・実施計画の更新に伴う事業内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：2回 ・実施計画に基づく取組の推進 ・調査結果に基づく取組の検討 ・見直しを踏まえた実施 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：2回 	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：2回 	事業推進
麻生里地・里山保全推進事業 里地・里山の保全や魅力をテーマにした講座やイベント等を開催し、地域住民や子どもたちなど若い世代に、里地・里山の魅力や必要性を伝えます。	<ul style="list-style-type: none"> ●里地・里山保全に関するイベント、人材育成交流事業等の開催 ○里地・里山の自然や文化等を継承し、未来へつなぐ里地・里山カフェ塾や里山フォーラムの開催 H28里地・里山カフェ塾：5回 H28里山フォーラム：参加者延べ230人 ○ポランティアの育成、確保等を目的とした人材育成交流事業の実施 H29あさお里山こどもクラブ：6回 ●里地・里山の魅力の発信 ○里地、里山への関心を高め、変わりゆく自然、風景の保存を目的とした風景写真展の開催、風景写真記録集の発行 H28写真展開催回数：1回 H28写真記録集発行：50冊 	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 継続実施 				事業推進
エコのまち麻生推進事業 緑のカーテン大作戦や地球温暖化対策、自然エネルギーの活用など、環境や緑の保全に関する普及啓発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動「緑のカーテン」等の普及啓発 ○「緑のカーテンづくり」等の普及啓発活動の推進 ・行政機関、大学等を利用した普及啓発の実施 ●太陽光等の自然エネルギーの活用促進 ○クールアース推進委員会等による自然エネルギー活用の普及啓発 ・各種イベントを活用した普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の配布方法の見直しの実施 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検証・見直しの実施 			事業推進

高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進

主な取組の方向性

高齢化が進展する中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた互いに支え合える地域のつながりづくりを推進します。また、地域住民、地域団体、関連機関等との連携やネットワーク化を図るとともに、自助・互助を推進するための講演会等による普及啓発、団体等への活動支援、多世代交流の場づくりや健康づくりなどに取り組みます。

事務事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
地域包括ケアシステム推進事業 講演会・各種広報媒体等を活用した普及啓発や地域団体への活動支援、多世代交流の場づくりなどを実施し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域団体や大学等と連携した地域づくりの推進 ○地域の課題解決に向けて、住民自らが取組を進める地域活動支援の推進 ・町内会・自治会等へのヒアリング H29ワークショップ：3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自己診断ツールの作成・試行 ・ワークショップ開催 ・大学等と協働した地域づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップや地域自己診断の活用などによる地域づくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの手法等の検証・見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりに向けた取組の推進 	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症カフェや公園体操等への学生ボランティアの参加促進 H29学生ボランティアの参加：23か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズ調査や大学との連絡調整等の区におけるコーディネート機能の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力団体の拡充等へに向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加促進の取組 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域団体・グループ等の活動に対する支援 ○町内会・自治会やボランティア団体、自主グループ等に対する活動支援の推進 ・出前講座、物品貸出等による活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援の実施 ・支援内容の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力団体の拡充等へに向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援の実施 		
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域における多世代交流の促進 ○地域団体やボランティア、保育園等と連携した高齢者施設・公園等を活用した多世代交流の促進 H29多世代交流事業：7回 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流事業：7回程度 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流事業：7回程度 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流事業：7回程度 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流事業：7回程度 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステムの普及啓発・情報発信 H29講演会：3回 ・リーフレットの作成 	継続実施				
公園を拠点にした健康づくり推進事業 生活習慣病の予防及び介護予防を図り、健康寿命を延伸するとともに、地域のつながりづくりのため、公園等を拠点とした健康ウォーク及び健康体操を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●公園等を拠点とした健康づくり・介護予防の推進及び地域のつながりづくり、見守りの推進 ○健康ウォーク・健康体操の活動支援（活動資料の提供等）と新たな拠点づくりに向けた相談・支援の実施 H28活動支援実績 健康ウォーク：223回 健康体操：130回 ・あさおウォーキングマップの普及 H28出前講座等：95回 	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あさおウォーキングマップの普及、現地調査等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・マップの活用に向けた検討の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を踏まえた実施 	事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者が安心して生活できる地域づくりの推進 ○民生委員児童委員、地域包括支援センターなど、関係機関等と連携した地域づくりの推進 ・安心見守りネットの運用 	継続実施				事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関による啓発活動、情報交換、顔の見える関係づくりの推進 ○情報交換会を活用した警察署、消防署、消費者行政センター等によるネットワーク参加者向けの啓発活動の実施 H29情報交換会：1回 	情報交換会：1回	情報交換会：1回	情報交換会：1回	情報交換会：1回	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価



安全・安心まちづくりの推進

主な取組の方向性

市及び区地域防災計画に基づき、地域主体と連携した実践的な区総合防災訓練の実施や区災害対策本部体制の強化及び発災時の避難所運営体制の充実を図るなど、災害に強いまちづくりを推進します。また、区民が安全・安心に暮らすことができるように、地域の防犯組織強化に向けた支援、防犯に関する迅速な情報提供、交通安全の啓発事業を行います。

事務事業名	現状		事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
地域防災力の向上事業 区危機管理体制の強化、区民や自主防災組織等による自助、共助(互助)の推進により、地域防災力の向上を図ります。	●地域防災力強化に向けた取組の推進 ○自主防災組織訓練(避難所開設、宿泊、運営訓練)の支援 H28支援回数:65回		支援回数:60回程度	支援回数:60回程度	支援回数:60回程度	→ 事業推進	
	○避難所運営会議の実施 H28実施回数:25か所		実施回数:25か所	実施回数:25か所	実施回数:25か所	→	
	●麻生区総合防災訓練の実施 ○区民や関係機関との連携による地域特性に応じた実践的な訓練の実施 H29実施回数:1回 (王禅寺ふるさと公園)		実施回数:2回 ※関連する事務事業:施策1-1-1「地域防災推進事業」	実施回数:2回	実施回数:2回	実施回数:2回	→
	●区災害対策本部機能の強化に向けた取組の推進 H29区本部開設訓練実施回数:1回 ・区地域防災計画、各種マニュアルの実践		区本部開設訓練実施回数:1回 継続実施	区本部開設訓練実施回数:1回	区本部開設訓練実施回数:1回	区本部開設訓練実施回数:1回	→
	●防災関係機関(警察署、消防署等)との災害対策連絡協議会の開催 H28会議回数:10回 H28訓練回数:4回		会議回数:8回 訓練回数:4回 ・協議会運営の検証・見直しの実施				→
	●小学校のプールの水を活用する避難所浄水装置の配置 H29:累計5台		増設:1台	増設:1台	増設:1台	増設:1台(累計9台をもって配置完了予定)	→
麻生区安全・安心まちづくり事業 区民の安全・安心への意識の高揚を図り、地域組織の防犯活動支援や身近な犯罪等の情報発信を通じて、安全・安心のまちづくりを推進します。	●麻生区交通安全対策協議会等と連携した街頭啓発活動の実施 ○交通安全運動キャンペーンや二輪車・自転車の安全指導等、継続した街頭啓発活動の実施 H29実施回数:21回		実施回数:20回程度	実施回数:20回程度	実施回数:20回程度	→ 事業推進	
	●安全パトロール実施組織への支援 ○パトロール物品の貸与、研修会の開催等による活動支援の実施 H29支援団体数:87団体		支援団体数:80団体程度	支援団体数:80団体程度	支援団体数:80団体程度	支援団体数:80団体程度	→
	●交通安全教育の実施 ○小学生や幼稚園・保育園児を対象とした交通安全教育の実施 H29実施回数:78回		実施回数:50回以上	実施回数:50回以上	実施回数:50回以上	実施回数:50回以上	→
	○中学生を対象としたスクエア・ストレート方式の交通安全教室の実施 H29実施回数:3回		実施回数:3回	実施回数:3回	実施回数:3回	実施回数:3回	→
	●区内の防犯情報の提供 ○「麻生区メール配信システム」を活用した区内の防犯情報の提供 ・メール配信による情報提供の実施		・情報提供の手法と内容の検証・見直しの実施	・情報提供の実施			→

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

総合的な子ども・子育て支援の推進

主な取組の方向性

多様化する子育て支援ニーズに対応したきめ細かな支援を行い、地域全体で子育て家庭を支える取組を推進します。また、子ども関連機関や団体等の交流・連携を強化するとともに、効果的な子育て支援情報の発信、地域活動の支援、麻生区・6大学公学協働ネットワークや民間企業等の地域資源を活用した子ども・子育て支援に取り組めます。

事務事業名	現状		事業内容・目標				
	平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降	
子育て支援・企画事業 子育て支援情報の発信、子育てグループ等の支援、地域人材や企業を活用した子育て支援など、区の状況に合った子ども・子育て支援を推進します。		●麻生区子ども関連ネットワーク会議の開催による関連団体等との連携強化及び情報共有の促進 ○子育てや子どもの育成を地域全体で支援するため関連団体等との連携会議の開催 H29全体会議：3回 H29研修等：3回	全体会議：3回 研修等：3回 ・委員の改選に伴う会議開催数、研修内容等の検討	・検討を踏まえた実施	→	事業推進	
		●麻生区子育て人材バンク事業の実施による子育て支援の推進 ○子育て人材バンク事業による区内子育てサークル等の子育てボランティアを派遣による活動支援の推進 H28ボランティア派遣：61回・70名	継続実施		→		
区内保育園等支援・連携事業 公民保育所等の交流・連携・人材育成など、保育園等を活用した地域における子育て支援を推進します。		●子育て関連機関や民間企業、区内保育園等と連携した子育て支援事業の実施 ○民間企業と連携した子育て支援事業の実施 H29企業との連携事業：12回	実施回数：12回	実施回数：12回	実施回数：12回	→	事業推進
		○子育て関係機関と連携した子育て支援事業の実施 H29父親向け子育て支援事業：8回	父親向け子育て支援事業：8回 ・事業内容の検証・見直しの実施	・検証を踏まえた実施	→		
		●区内就学前児童交流事業の実施 ○小学校入学を控えた地域の子ども達同士の交流事業の実施 H29実施回数：4回	実施回数：4回程度	実施回数：4回程度	実施回数：4回程度	→	
子ども関連大学連携事業 大学との連携を通して、各種講座、体験学習や文化事業などの子ども・子育て支援を推進します。		●麻生区・6大学公学協働ネットワークとの連携・協力による子ども・子育て支援の取組 ○大学との連携・協力による未就学児親子向けコンサートや講演会、小中学生体験学習等の実施 H29未就学児親子向け事業：7回 H29小中学生向け体験学習：5回	未就学児親子向け事業：7回程度 小中学生向け体験学習：5回程度	未就学児親子向け事業：7回程度 小中学生向け体験学習：5回程度	未就学児親子向け事業：7回程度 小中学生向け体験学習：5回程度	→	事業推進
あさお子育てフェスタ開催事業 子育て世代に支援の情報を届け、地域の団体とのつながり・子育て世代同士の交流の機会をつくれます。		●地域の子育て支援団体等との協働によるあさお子育てフェスタの開催 H29参加者数：約2,300人	継続実施 ・企画検討会を活用した事業実施手法の検証、見直しの実施		→	事業推進	



民間企業と連携した子育て支援事業



あさお子育てフェスタ

総論
 10年戦略
 基本政策1
 基本政策2
 政策体系別計画
 基本政策3
 基本政策4
 基本政策5

区計画
 進行管理・評価



地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

主な取組の方向性

「麻生市民交流館やまゆり」を引き続き区の市民活動支援の拠点として位置づけ、市民の主体的な運営参画による中間支援組織として、市民活動の一層の推進を図ります。また、地域コミュニティの核である町内会・自治会に対し、提案事業や加入促進等を通じて、地域活性化に向けた取組を推進します。さらに、スポーツのまち麻生の推進を通じて豊かなコミュニティづくりを進めます。

事務事業名	事業内容・目標					
	現状 平成28～29 (2016～17)年度	平成30(2018) 年度	平成31(2019) 年度	平成32(2020) 年度	平成33(2021) 年度	平成34(2022) 年度以降
麻生区市民活動支援施設利用促進事業 「麻生市民交流館やまゆり」を利用した市民活動支援の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体交流イベント、市民活動参加を促す人材育成講座等の実施 ○市民活動支援のための交流イベント、市民活動への参加促進のためのアクティブシニア講座等の実施 H29団体活動発表会等：3回 H29アクティブシニア講座：1回	<ul style="list-style-type: none"> ・交流イベントの開催 ・アクティブシニア講座：4回 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検証・見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた実施 		事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな媒体を活用した情報発信・提供 ○区民の手により制作された広報誌を活用した情報発信の実施 ・情報発信の実施	継続実施				事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ○市民交流館やまゆりにおける相談窓口での情報提供等、市民活動に繋げる取組の実施 H28窓口相談件数：40件	継続実施				事業推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●「麻生市民交流館やまゆり」による提案型事業の推進 ○新たなコミュニティづくりに資する提案型事業の実施、報告会の開催 H29提案数：8件	継続実施				事業推進
町内会事業提案制度事業 町内会・自治会が、地域の課題を発見し、課題解決のための事業を提案し、認定された事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会・自治会と協働した提案型事業の実施 ○地域住民のつながりや地域の課題解決力の強化を目的とした提案型事業の実施 H29提案数：7件	<ul style="list-style-type: none"> ・区町会連合会の広報誌やホームページにおける実施内容の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検証・見直しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた実施 		事業推進
麻生区市民提案型協働事業 地域の団体等から地域課題の解決に資する事業提案を受け、選定された事業を提案団体が実施することで、より住みやすいまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の団体等と協働した提案型事業の実施 ○地域課題の発見と解決を図り、より住みよいまちづくりを推進することを目的とした提案型事業の実施 H29提案数：4件	<ul style="list-style-type: none"> ・団体による公開プレゼンテーションの実施 ・区民を対象とした報告会の開催 				事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価

事務事業名	現状		事業内容・目標			
	平成28～29 (2016～17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
スポーツのまち麻生推進事業 地域資源を活用しながら、区民のスポーツ参加を促し、活力ある地域づくり、豊かなコミュニティづくりを図ります。	●表彰品、賞状の贈呈等による区内のスポーツ団体が主催するスポーツ大会への支援 H28支援：13大会 支援：14大会 支援：14大会 支援：14大会 支援：14大会 → 事業推進					
	●スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツ教室、イベントの実施 H28ウォーキングイベントの実施：3回 スポーツ教室、イベントの実施 事業内容の検証・見直しの実施 検証を踏まえた実施 →					
	●ホームページ、チラシ等を活用した区内スポーツ関連情報の発信 ・情報発信の実施 継続実施 →					
	●川崎フロンターレの応援を通じたスポーツのまちづくり ○あさお青玄まつり、ホームゲーム観戦ツアーなど交流イベントによるスポーツのまちづくりの取組の推進 ・イベント開催等による 継続実施 → 地域活性化の取組					
	●総合型地域スポーツクラブの育成・運営支援 ○広報、イベント共催等の総合型地域スポーツクラブへの育成・運営支援の推進 ・イベント実施の支援 継続実施 →					
	●障害者スポーツの振興によるかわさきパラムーブメントの推進 ○総合型地域スポーツクラブによるパラスポーツ体験・教室開催の支援等の取組の推進 ・パラスポーツ体験教室の開催支援（柿生地区） パラスポーツ体験教室の開催支援（柿生地区） → 東京2020オリンピック・パラリンピックにあわせた事業の実施 →					



アクティブシニア養成講座



パラスポーツ体験教室（ボッチャ体験）

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価



地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標				
			平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
麻生区								
芸術・文化のまちづくりの推進								
	KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会開催事業	KAWASAKIしんゆり映画祭の一環として野外上映会を開催します。	●KAWASAKIしんゆり映画祭の一環として野外上映会及び関連イベントの開催					事業推進
	ふるさとあさお再発見事業	区に伝わる伝統行事「七草粥」を再現し、地域の豊かな自然の恵みと文化の香りに触れる機会を提供します。	●地域文化団体等と連携した伝統行事「七草粥」の実施					事業推進
	イメージアップ推進事業	区内の文化芸術やスポーツ資源の魅力のアピールし、芸術・文化のまちづくりを推進します。	●kirara@アートしんゆりへの協力 ●芸術・文化やスポーツ活動に関する懸垂幕や柱巻き広告の掲出					事業推進
	地域資源を活用したまちづくり推進事業	各種団体と協働し、文化芸術などさまざまな地域資源を活用して、魅力ある地域づくりに取り組み、区のイメージアップを図ります。	●芸術文化などさまざまな地域資源を活用した事業の企画提案及び実施					事業推進
農と環境を活かしたまちづくりの推進								
	あさお花いっぱい推進事業	美化活動団体への支援を通じて、区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を図ります。	●公共的空間にある花壇を自主的・継続的に管理している団体への花苗等の提供					事業推進
	ヤマユリ植栽普及促進事業	地域の団体と連携しながら消えつつある区の花ヤマユリの植栽活動を促進、支援し、植栽のノウハウの蓄積、普及を推進します。	●ヤマユリ植栽地の観察・管理活動の実施 ●ヤマユリ普及のための鉢植え講習会や広報活動の実施					事業推進
高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進								
	あさお福祉まつり開催事業	福祉団体等の活動紹介などを通じて、福祉の理解と関心を深めるとともに、地域福祉活動に携わる人の連携強化を推進します。	●あさお福祉まつりの開催					事業推進
安全・安心まちづくりの推進								
	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	区民、地域団体、学校等の連携により、区民の日常生活における交通・防犯上の危険箇所を表示したマップを作製し、配布します。	●「小学校区危険箇所案内マップ」の作製及び配布					事業推進
	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	転入者等への初期情報として、地図を中心とした区内の各種情報を提供するため、麻生区ガイドマップを改訂し、配布します。	●麻生区ガイドマップの改訂・発行及び区ホームページの地図データ等の更新					事業推進
	麻生落書き消し事業	駅周辺等の一斉落書き消しや、地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	●区内駅周辺等の「一斉落書き消し」や地域の要請に応じた「出前落書き消し」の実施					事業推進
総合的な子ども・子育て支援の推進								
	外国籍子ども学習支援事業	外国籍及び外国につながる児童・生徒の学習を地域で支援します。	●小・中学校の授業における学習支援事業の実施					事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進化管理・評価

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標					
			現状 平成28~29 (2016~17) 年度	平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度以降
麻生区								
地域資源を活用したコミュニティづくりの推進								
	麻生区市民活動支援施設活用事業	「麻生市民交流館やまゆり」の施設の管理運営を支援します。	●「麻生市民交流館やまゆり」の施設運営の支援					事業推進
	市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業	地域人材を市民活動・地域活動へつなげるしくみを作り、人材の発掘・育成と活動への参加を促します。	●麻生区市民活動団体検索システムの運用、利用拡大に向けた検討の実施 ●地域人材の発掘・育成研修の実施					事業推進
	町内会・自治会加入促進事業	町内会・自治会への加入を促進し、地域のつながりづくりや地域コミュニティの活性化を進めます。	●町内会・自治会加入促進ガイドブック等を活用した町内会・自治会への加入促進					事業推進
	麻生区地域功労表彰事業	地域で活動している人（団体）を表彰することで、地域活動への関心を高め、地域の活性化を図ります。	●麻生区地域功労表彰候補者の募集、選定及び表彰					事業推進
	麻生区多文化共生推進事業	多文化共生に対して高い意識を持つ区民が主体となった自主的・自発的な多文化共生活動の支援・推進を図ります。	●地域における多文化共生の啓発及び推進 ●地域の日本人市民と外国人市民の交流推進					事業推進
	区民祭開催経費	麻生区の文化の発展と区民の連帯を深め、うるおいのある麻生区のみちづくりを推進します。	●区内各種団体との協働によるあさお区民まつりの開催					事業推進
区役所サービス向上事業								
	区役所窓口等サービス充実改善事業	区役所の総合的なサービス向上のための環境整備や研修を実施します。	●サービス向上のための環境整備や研修の実施					事業推進
	区政・地域情報提供事業	区や地域の情報を効果的に伝えるため、統計情報を作成や区役所職員の情報スキル向上等を図ります。	●統計情報の作成や広報研修の実施					事業推進
地域課題対応その他事業								
	事務費等共通経費	地域課題対応事業の実施に必要な事務費を計上します。	●地域課題対応事業の実施に係る事務費					事業推進
区の新たな課題即応事業								
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施					事業推進



“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

● “芸術・文化のまちづくり” ～区民が支える芸術・文化～

麻生区では、地域の方々が中心となり、区誕生当初から芸術・文化のまちづくりが進められてきました。

－ 出演する、企画する、観客として楽しむ－ それぞれのスタイルで参加して街の芸術・文化を支えています。

どのような参加の仕方がありますか？

- **麻生音楽祭** －「区民手作りの音楽祭」をモットーに1986年から開催され、参加する音楽グループや学校は、日頃の練習の成果を発表するだけでなく、代表者で組織する実行委員会の一員として、企画から運営までを行っています。当日は、子どもから高齢者まで2,000人以上が出演し、出演者は一緒にバックステージの準備を行い、演奏を聴き合うなど、出演者間の交流も図られています。麻生区イメージソング「かがやいて麻生」もここから生まれました。
- **KAWASAKI しんゆり映画祭** －ボランティアスタッフが主体となり、市民（みんな）でつくる映画のお祭りです。夏の野外上映会では、市民がスタッフとして「広報宣伝」「美術制作」などを担当し、企画立案・準備を行います。会場はたくさんの親子連れで賑わいます。映画に関する知識がある人も、知識がない人も一緒に考えて企画・運営することで、交流の輪が広がっています。
- **アルテリッカしんゆり** －お客様をご案内するコンシェルジュからJAZZバーでのおもてなしまで多彩な業務を150人を超える「アートボランティア」の皆さんが支えています。実務研修を受けてから活動するアートボランティアの皆さんの心のこもった接客は、来場者からも大変好評を博しています。
- **観客としての参加** -昭和音楽大学や川崎市アートセンターのほか区全域で、多彩なジャンルの公演を「観客として楽しむ」として、多くの区民が芸術・文化のまちづくりを支えています。



演奏を楽しむ出演者（麻生音楽祭）



企画した上映会にたくさんの方が来場
(KAWASAKI しんゆり映画祭野外上映会)



アルテリッカしんゆりを楽しむ観客
(昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・ショウワ)

今後も、市民や大学、団体などと連携し、区内全域に広がる豊かな芸術・文化資源を生かすことにより、区民の交流の輪が広がり、多くの人を訪れる魅力あふれる地域となるよう取り組んでいきます。

★市民の想い、メッセージ

- 麻生音楽祭を観て、楽器を始めたいと思いました。観ていると練習を重ねていることが感じられます。みんなで演奏することは楽しくてわくわくするんだらうなと思い、子育てが落ち着いたらしてみたいなと思いました。（麻生音楽祭アコースティックコンサート来場者）
- 野外上映会で地域の方々と接する機会があって良かったです。／お店へのポスター貼りをお願いしたら、お店の人が協力的で嬉しかったです。（KAWASAKI しんゆり映画祭ボランティア）
- お客さまの楽しそうな表情、笑顔が忘れられません。／少しでも社会に役立っているという感覚を持つことができ、充実感がありました。（アルテリッカしんゆり アートボランティア）

●麻生区・6大学公学協働ネットワーク ～大学と協働で地域課題を解決！～

麻生区では、区内に立地する6つの大学と「麻生区・6大学公学協働ネットワーク」を構築し、各大学との連携事業の情報共有等を行いながら、大学が持つ特色や専門性を活かして、“音楽・映画・環境・農業・教育・福祉”など、さまざまな分野で、大学・行政の協働による取組が行われています。

どのような取組が行われていますか？

これまで実施された取組の一部を紹介します。

音楽 「こどもと一緒にコンサート」「交流コンサート」など…昭和音楽大学クラシックやジャズ・ポピュラーなどのコンサートや、大学生と楽器体験など子どもたちが本格的な音楽・芸術文化に触れる機会を提供します。



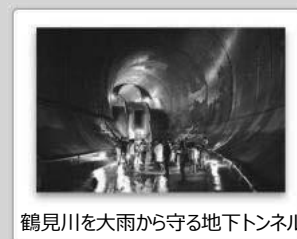
いろんな楽器を触ってみよう♪



本格的な機材で撮影にチャレンジ！

映画 「こども映画大学」…日本映画大学

シナリオ作りから撮影・編集、上映まで、大学生と映画づくりを行うことで作品を作る過程でコミュニケーションやチームワークを学び、子どもの自主性や成長を培います。



鶴見川を大雨から守る地下トンネル

環境 「夏休みファミリー体験学習 i n 鶴見川」…和光大学

巨大地下トンネルの見学や、鶴見川で魚などの生き物の採取と観察を通じて、地域の環境や自然災害について知識や関心を持つきっかけをつくれます。



親子で力を合わせて野菜を収穫

農業 「アグリ・エコファーム体験 i n 明大黒川農場」…明治大学

最先端の農場見学や、野菜の収穫体験を通じて、自然や農業への興味・関心を高め、親子で楽しく食育について学びます。



仲間と協力してミッションクリア！

教育 「親子で体験アドベンチャー」「赤ちゃん学講座」など…玉川大学

大学の研究施設等での見学・体験や、赤ちゃん学の研究に関する講座など、総合大学として多彩なテーマや施設から、子どもや大人の興味・関心を引き出します。



認知症カフェに大学生が参加

福祉 「認知症カフェ、公園体操への学生ボランティア参加」など…田園調布学園大学

地域の認知症カフェに「福祉マインド実践講座」を受講する大学生が参加し、運営に協力しています。また、福祉の専科大学として、福祉分野や子育て等のさまざまな取組で連携しています。

地域のイベントなど、さまざまな場面で大学や学生が活躍しています。今後も各大学と協働して「子どもから大人まで多くの方が、楽しみながら参加することができる」地域課題の解決に向けた取組を推進していきます。



麻生区マップ

凡例	施設整備等 ●
	道路整備 ■

⑪ 町田調布線【黒川工区】

⑬ 里山再生事業 (黒川地区)

⑥ 世田谷町田線
【片平工区、上麻生Ⅰ期工区、
上麻生Ⅱ期工区】

⑤ 尻手黒川線【Ⅳ期工区】

② くのり実保育園

⑭ 柿生小学校の校舎増築

⑨ 横浜上麻生【柿生陸橋工区】

⑳ 里山再生事業 (岡上地区)

⑰ 麻生市民館の改修

⑫ 横浜市営地下鉄3号線
延伸に関する取組

① 天才キッズクラブ
楽学館百合ヶ丘園

⑮ 高石住宅新棟の整備

⑬ 新百合ヶ丘駅周辺
地区のまちづくり



⑧ 野川柿生線【王禅寺工区】

③ 山口台あおば保育園
【小規模保育事業所】

⑭ 柿生駅周辺地区の整備

④ 柿生町田線【柿生駅南口工区】

⑳ 里山再生事業 (早野地区)

⑱ 早野聖地公園の整備

⑦ 菅早野線【下麻生工区】

⑩ 横浜上麻生【下麻生工区】

区のマップとの対応表

● 福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
天才キッズクラブ楽学館百合ヶ丘園	H30(2018)	60 人	①
くりの実保育園	H30(2018)	40 人	②
山口台あおば保育園【小規模保育事業所】	H30(2018)	19 人	③

● 道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
柿生町田線【柿生駅南口工区】	新設道路	H33(2021) 完成	④
尻手黒川線【Ⅳ期工区】	新設道路	事業推進	⑤
世田谷町田線【片平工区、上麻生Ⅰ期工区、上麻生Ⅱ期工区】	道路拡幅	事業推進	⑥
菅早野線【下麻生工区】	道路拡幅	事業推進	⑦
野川柿生線【王禅寺工区】	道路拡幅	事業推進	⑧
横浜上麻生【柿生陸橋工区】	橋りょう整備	事業推進	⑨
横浜上麻生【下麻生工区】	道路拡幅	事業推進	⑩
町田調布線【黒川工区】	道路拡幅	H33(2021) 完成	⑪

● その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
横浜市営地下鉄 3 号線 延伸に関する取組	横浜市の事業化判断に向けた調査・検討等	事業推進	⑫
新百合ヶ丘駅周辺地区のまちづくり	横浜市営地下鉄 3 号線の延伸計画の進捗など周辺環境の変化を見据えた取組の推進	事業推進	⑬
柿生駅周辺地区の整備	柿生駅南口地区の市街地再開発事業	事業推進	⑭
高石住宅新棟の整備	市営住宅の建替工事	H33(2021) 入居開始	⑮
柿生小学校の校舎増築	校舎の増築工事	H32(2020) 着手 H32(2020) 完成	⑯
麻生市民館の改修	麻生市民館の長寿命化に伴う改修	事業推進	⑰
早野聖地公園の整備	安定した墓所供給に向けた新規墓所の整備	H32(2020) 完成	⑱
里山再生事業（黒川地区・岡上地区・早野地区）	効果的な緑地保全や適切な管理・再生による里地・里山づくりの推進	事業推進	⑲ ⑳ ㉑

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業）
芸術・文化のまちづくりの推進	<input type="checkbox"/> しんゆり・芸術のまち推進事業 <input type="checkbox"/> 麻生音楽祭開催事業 <input type="checkbox"/> あさお観光資源の魅力紹介事業 <input type="checkbox"/> あさお芸術のまちコンサート事業 <input type="checkbox"/> KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会開催事業 <input type="checkbox"/> ふるさとあさお再発見事業 <input type="checkbox"/> イメージアップ推進事業 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり推進事業
農と環境を活かしたまちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 農と環境を活かした連携事業 <input type="checkbox"/> 麻生里地・里山保全推進事業 <input type="checkbox"/> エコのまち麻生推進事業 <input type="checkbox"/> あさお花いっぱい推進事業 <input type="checkbox"/> ヤマユリ植栽普及促進事業
高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステム推進事業 <input type="checkbox"/> 公園を拠点にした健康づくり推進事業 <input type="checkbox"/> 高齢者見守りネットワーク事業 <input type="checkbox"/> あさお福祉まつり開催事業
安全・安心まちづくりの推進	<input type="checkbox"/> 地域防災力の向上事業 <input type="checkbox"/> 麻生区安全・安心まちづくり事業 <input type="checkbox"/> 小学校区危険箇所案内マップ作製事業 <input type="checkbox"/> 麻生区ガイドマップ増刷改訂事業 <input type="checkbox"/> 麻生落書き消し事業
総合的な子ども・子育て支援の推進	<input type="checkbox"/> 子育て支援・企画事業 <input type="checkbox"/> 区内保育園等支援・連携事業 <input type="checkbox"/> こども関連大学連携事業 <input type="checkbox"/> あさお子育てフェスタ開催事業 <input type="checkbox"/> 外国籍等子ども学習支援事業
地域資源を活用したコミュニティづくりの推進	<input type="checkbox"/> 麻生区市民活動支援施設利用促進事業 <input type="checkbox"/> 町内会事業提案制度事業 <input type="checkbox"/> 麻生区市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> スポーツのまち麻生推進事業 <input type="checkbox"/> 麻生区市民活動支援施設活用事業 <input type="checkbox"/> 市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業 <input type="checkbox"/> 町内会・自治会加入促進事業 <input type="checkbox"/> 麻生区地域功労表彰事業 <input type="checkbox"/> 麻生区多文化共生推進事業 <input type="checkbox"/> 区民祭開催経費
区役所サービス向上事業	<input type="checkbox"/> 区役所窓口等サービス充実改善事業 <input type="checkbox"/> 区政・地域情報提供事業
地域課題対応その他事業	<input type="checkbox"/> 事務費等共通経費
区の新たな課題即応事業	<input type="checkbox"/> 区の新たな課題即応事業